

I P H O 7 1 0
利用の手引き

目次

1 「NTT 東日本」 および 「NTT 西日本」 の選択	1
1.1 概要	1
1.1.1 相違点	1
1.1.2 注意事項	2
2 Web 保守	3
2.1 概要	3
2.1.1 WWW ブラウザの起動	3
2.1.2 本ユニットへの接続	7
2.1.3 HTTP サーバへのログイン	8
2.1.4 画面構成の説明	9
2.1.5 メニュー	10
2.2 使用方法	11
2.2.1 NTT 東日本の場合	13
2.2.1.1 メニュー	13
2.2.1.2 自動ファームアップ設定	19
2.2.1.3 LAN インタフェース設定	20
2.2.1.4 WAN インタフェース設定	21
2.2.1.5 UPnP 設定	22
2.2.1.6 PPPoE ブリッジ設定	23
2.2.1.7 IPv6 ブリッジ設定	24
2.2.1.8 DHCP サーバ設定	25
2.2.1.9 固定割り付けテーブル設定	26
2.2.1.10 ProxyDNS 設定	28
2.2.1.11 ホストテーブル設定	29
2.2.1.12 アドレス変換設定	31
2.2.1.13 ルーティング設定	34
2.2.1.14 フィルタリング設定	39
2.2.1.15 詳細設定	42
2.2.1.16 設定データ初期化	44
2.2.1.17 設定データ保存	45
2.2.1.18 インタフェース状態表示	46
2.2.1.19 パケット統計情報表示	48
2.2.1.20 ARP テーブル表示	49
2.2.1.21 DNS キャッシュテーブル表示	50
2.2.1.22 IP ルーティング情報表示	51
2.2.1.23 DHCP 割り付け状態表示	53
2.2.1.24 障害ログ表示	54
2.2.1.25 通話ログ表示	57
2.2.1.26 ログデータ保存	59

2.2.1.27 設定一覧表示	60
2.2.1.28 自動ファームアップ（手動更新）	61
2.2.1.29 ローカルファームアップ	62
2.2.1.30 再起動	63
2.2.2 NTT 西日本の場合	64
2.2.2.1 メニュー	64
2.2.2.2 自動ファームアップ設定	67
2.2.2.3 LAN インタフェース設定	67
2.2.2.4 DHCP サーバ設定	67
2.2.2.5 詳細設定	68
2.2.2.6 設定データ初期化	70
2.2.2.7 設定データ保存	70
2.2.2.8 インタフェース状態表示	70
2.2.2.9 パケット統計情報表示	72
2.2.2.10 ARP テーブル表示	72
2.2.2.11 DHCP 割り付け状態表示	72
2.2.2.12 障害ログ表示	72
2.2.2.13 通話ログ表示	72
2.2.2.14 ログデータ保存	72
2.2.2.15 設定一覧表示	72
2.2.2.16 自動ファームアップ（手動更新）	72
2.2.2.17 ローカルファームアップ	72
2.2.2.18 再起動	72

1 「NTT 東日本」および「NTT 西日本」の選択

この章では、「NTT 東日本」、および「NTT 西日本」の切り替えについて説明します。

1.1 概要

本ユニット工場出荷時に、「NTT 東日本」、および「NTT 西日本」の切り替えを行います。
また、「NTT 東日本」と「NTT 西日本」の場合では、初期値、およびWeb 画面構成が異なります。

1.1.1 相違点

表 「NTT 東日本」と「NTT 西日本」の相違点

相違点	NTT 東日本	NTT 西日本
WAN 側ネットワーク	使用する	使用する
使用インタフェース	PPPoE_1/PPPoE_2/PPPoE_3 ひかり電話インタフェース: StaticIP	ひかり電話インタフェース: DHCP
<ルータ設定>		
PPPoE 接続	○	×
UPnP IGD	○	×
Windows 共有関係のトラフィック遮断	○	×
MTU 値設定	○	×
スタティックルーティング	○	×
ソースルーティング	○	×
ドメインルーティング	○	×
ダイナミックルーティング	○	×
NAT/NAPT	○	×
静的 NAPT	○	×
IP フィルタリング	○	×
DNS リレーエージェント	○	×
ProxyDNS	○	×
PPPoE ブリッジ	○	×
IPv6 ブリッジ	○	×
<初期値>		
使用インタフェース	ひかり電話インタフェース: StaticIP	ひかり電話インタフェース: DHCP
<Web 画面>		
Web 画面構成	Web 画面構成については、「2. Web 保守」を参照して下さい。	

※ ○ : 有効または利用可能、 × : 無効または利用不可

※ 相違点がない項目に関しては記述していません。

1.1.2 注意事項

- (1) 工場出荷状態時（図 1-1-2-1）は、左フレームのメニュー選択はできません。
サービスタイプの項目にて、「ひかり電話オフィスタイプ（NTT 東日本）」、または「ひかり電話オフィスタイプ（NTT 西日本）」を決定すると、メニューの選択が可能となります。
- (2) サービスタイプの選択は、「NTT 東日本」、「NTT 西日本」のどちらかを選択します、1度選択されますと工場出荷状態に戻さない限り変更できません。
- (3) サービスタイプを変更するには、「設定メニュー」の「工場出荷状態に戻す」を選択しますと、サービスタイプを選択していない状態に戻ります。
工場出荷状態に戻した際は設定した全てのデータは初期化されます。

設定メニュー レポート表示 設定一覧表示 ファームアップ 再起動	Version	07.90.0002
	Date	2007.08.24
	MAC Address (LAN)	00-02-2B-A0-2F-94
	MAC Address (WAN)	00-02-2B-A0-2F-95
	Service Type	ひかり電話オフィスタイプ(NTT東日本) ひかり電話オフィスタイプ(NTT西日本)

設定上の注意

- 各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定」ボタンをクリックして下さい。
- データ設定中、「元に戻す」ボタンをクリックすることにより設定を取り消すことが出来ます。
- 設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され有効になります。
- 設定を変更した場合は、設定データ保存後、必ずユニットを再起動して下さい。
- 設定データ保存を行わずに電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。
- ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用下さい。

図 1-1-2-1 : 工場出荷状態

2 Web 保守

この章では、Web を使用した保守について説明します。

2.1 概要

Web 保守では、WWW ブラウザを使用して設定値の変更、確認、または本ユニットの動作状態を確認できます。設定に必要な WWW ブラウザは、フレーム表示が可能なものに限ります。(IE6.0 以降)

2.1.1 WWW ブラウザの起動

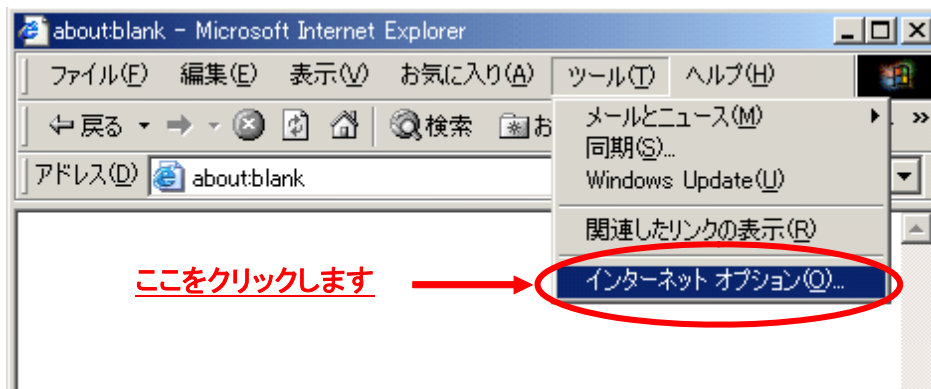
Microsoft Internet Explorer を起動して下さい。起動後に、プロキシ サーバー、セキュリティの設定を確認します。ここではバージョン 6.0 SP2 の設定方法を例に説明します。

(1) プロキシ サーバーの確認

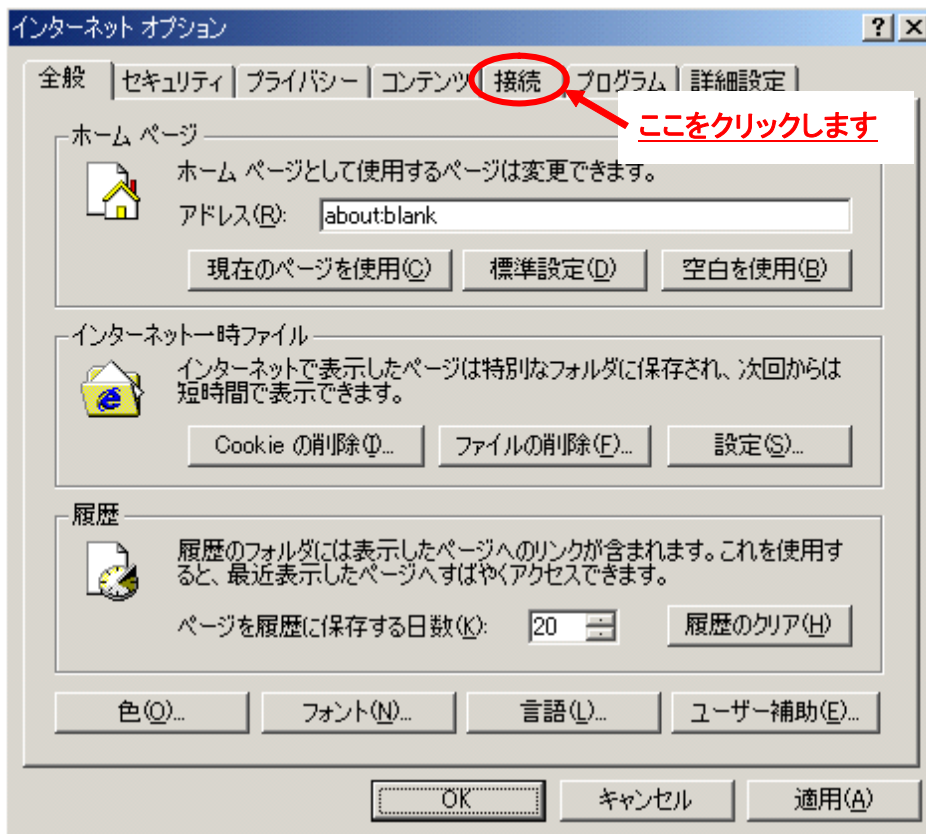
プロキシ サーバーは使用しない設定にして下さい。プロキシ サーバーを使用していると正常に接続できない場合があります。

① 「インターネット オプション」画面を開きます。

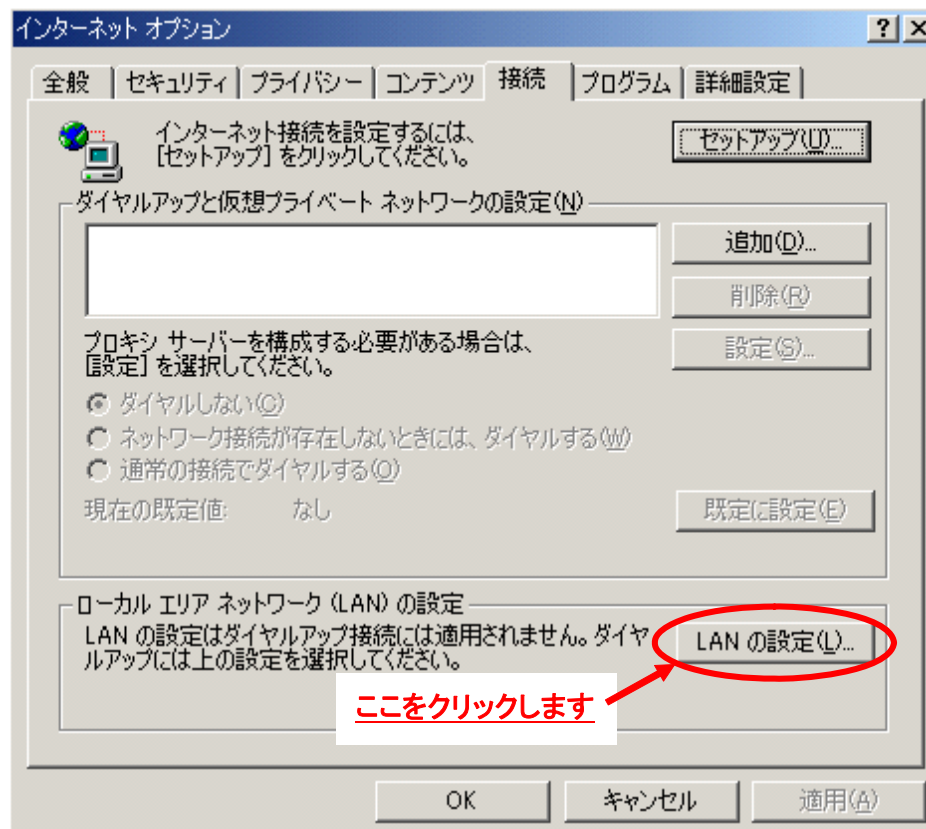
「ツール(T)」 → 「インターネット オプション(O)...」にて「インターネット オプション」画面を開きます。



② 「接続」 タブをクリックします。

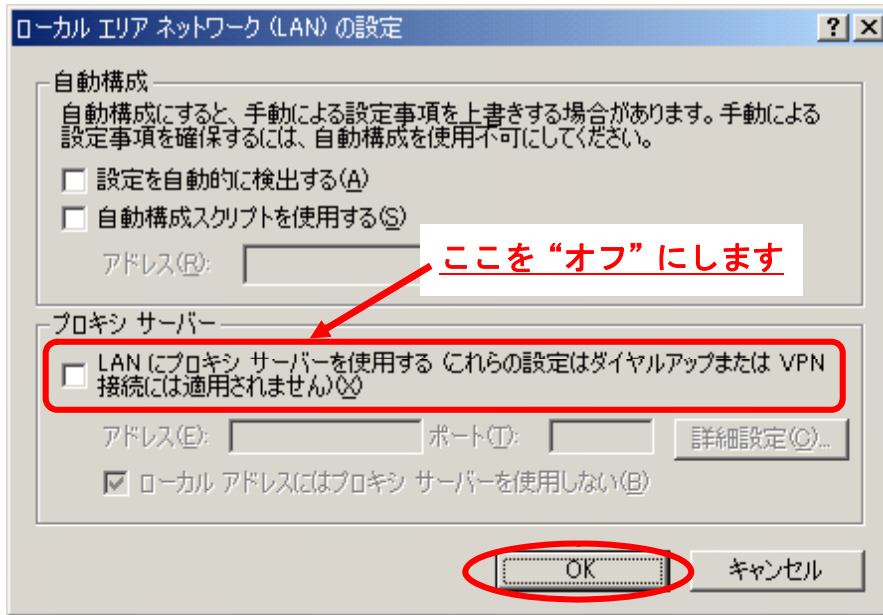


③ 「ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定」 画面を開きます。



④ プロキシ サーバーの設定を確認します。

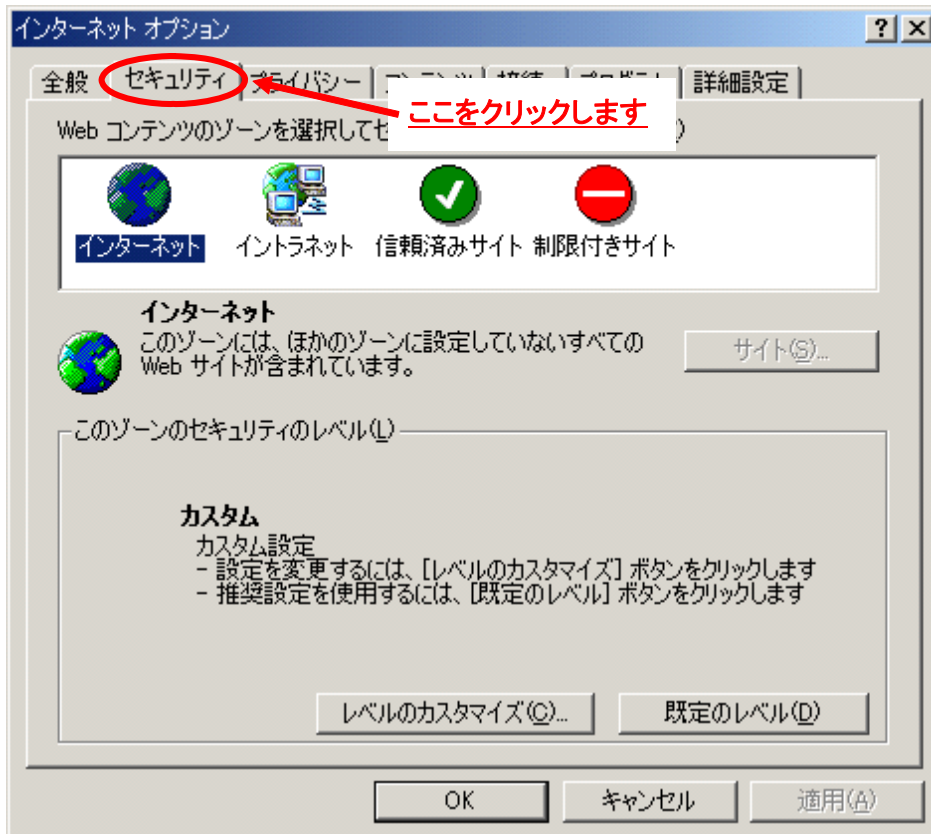
「LAN にプロキシ サーバーを使用する(これらの設定はダイヤルアップまたは VPN 接続には適用されません) (X)」のチェックボックスを「オフ」にし、「OK」ボタンをクリックして下さい。



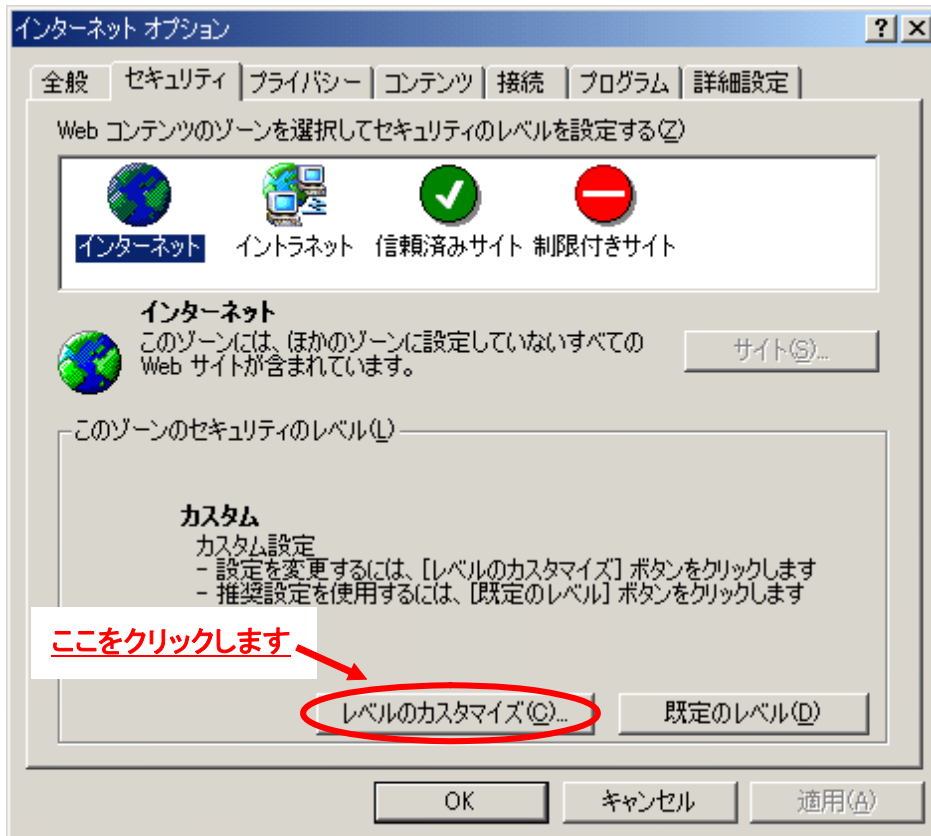
(2) JavaScript の確認

Web 保守では、JavaScript を使用していますので、以下の手順にて JavaScript の設定を行って下さい。

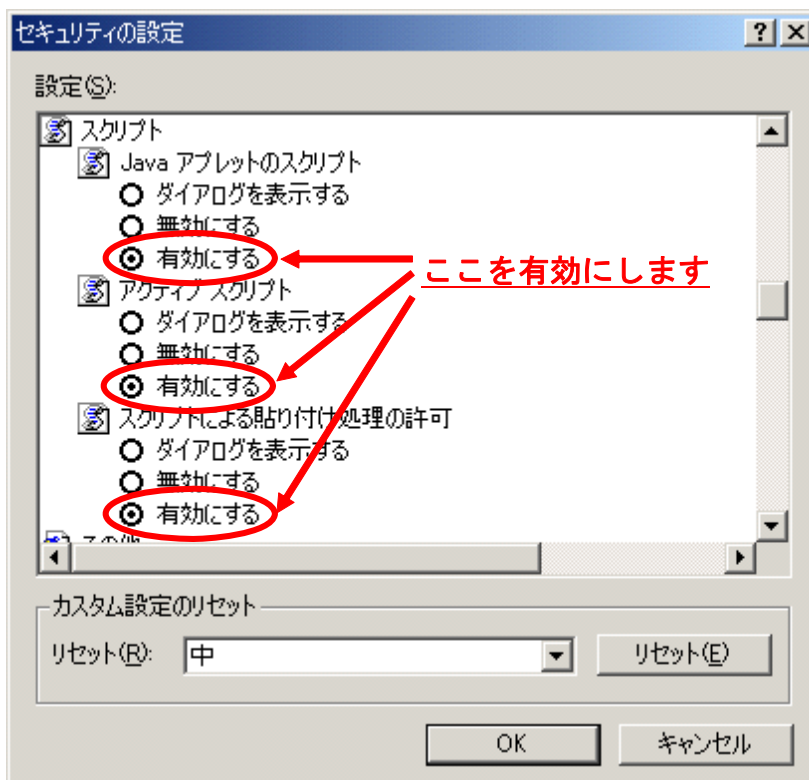
① 「インターネット オプション」画面で「セキュリティ」タブをクリックします。



②「レベルのカスタマイズ(C)...」ボタンをクリックします。

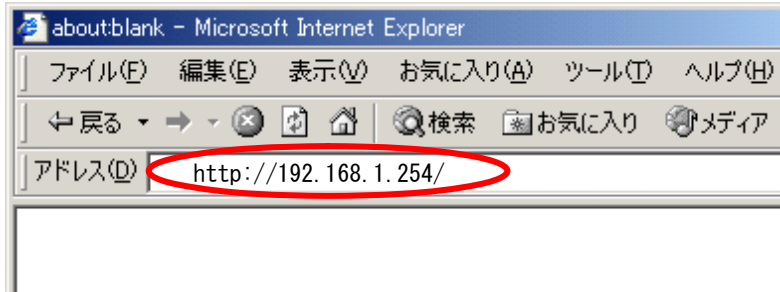


③この画面の「スクリプト」配下の「Java アプレットのスクリプト」、「アクティブスクリプト」、「スクリプトによる貼り付け処理の許可」の3項目を「有効にする」に設定して下さい。



2.1.2 本ユニットへの接続

WWW ブラウザの設定を確認した後に、本ユニットに直接接続します。「アドレス(D)」に、本ユニットの IP アドレスを入力します。



2.1.3 HTTP サーバへのログイン

IPH0710 に接続すると次の画面を表示します。



ユーザー名とパスワードを入力後、「OK」ボタンをクリックして下さい。ユーザー名及びパスワードは大文字、小文字を別の文字として識別します。

HTTP サーバにログインすると、トップ画面を表示します。

- ・NTT 東日本の場合は、「2.2.1.1 メニュー」画面を表示します。
- ・NTT 西日本の場合は、「2.2.2.1 メニュー」画面を表示します。

※補足説明：Web 認証画面（HTTP サーバへのログイン画面）の表示について

- ・主装置 Web 画面のメニューより本ユニットに接続した場合は、Web 認証画面は表示されません。

2.1.4 画面構成の説明

以下の説明は、NTT 東日本の画面を例として説明します。

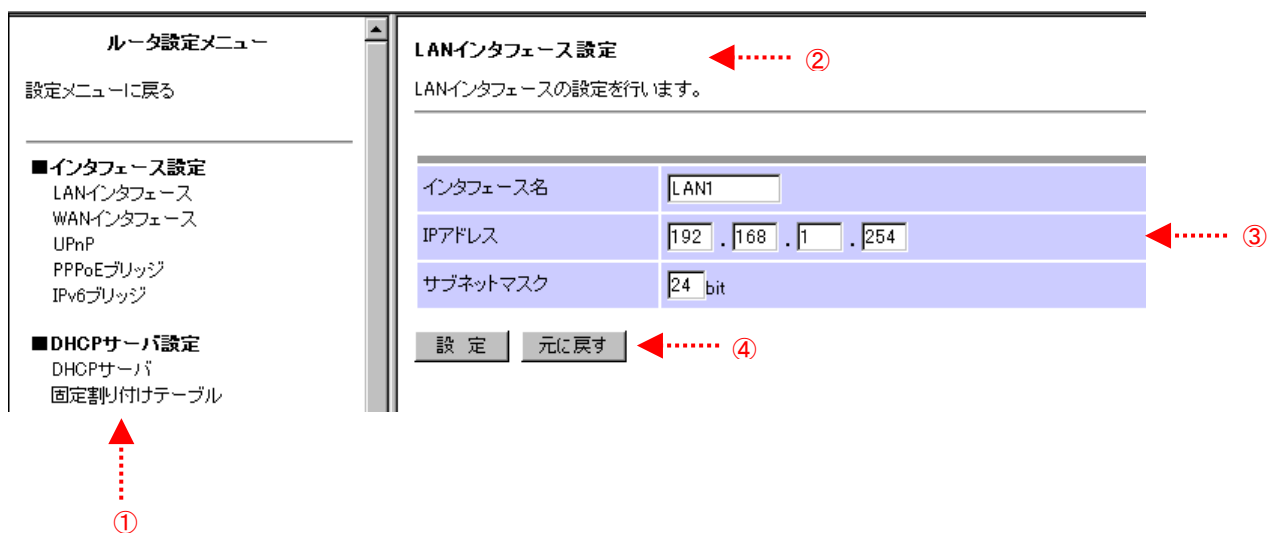


図 2-1-4 : 画面構成

【図 2-1-4 の説明】

- ①メニュー : メニューを選択することで、各設定画面を表示します。
- ②設定名称 : 各設定画面の名前を表示します。
- ③設定項目 : 各設定画面の設定項目を表示します。
- ④ボタン : 「設定」「元に戻す」ボタンを表示します。

2.1.5 メニュー

メニューの選択は、各設定画面の左側のメニューにマウスポインタを移動します。

※以下の説明は、NTT 東日本の画面を例として説明します。

- ①図 2-1-5-1 では、マウスポインタを「設定メニュー」に移動させ、「設定メニュー」の文字色が橙色に変化し、「設定メニュー」を選択することを示しています。

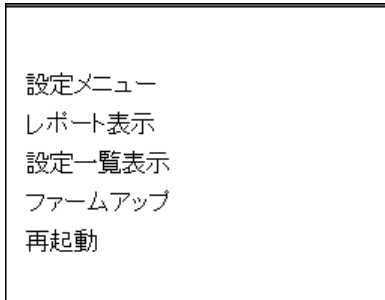


図 2-1-5-1 : メインメニュー

- ②図 2-1-5-2 では、図 2-1-5-1 で「設定メニュー」を選択後、「設定メニュー」画面でポインタを「自動ファームアップ設定」に移動させ、「自動ファームアップ設定」の文字色が橙色に変化し、「自動ファームアップ設定」を選択することを示しています。

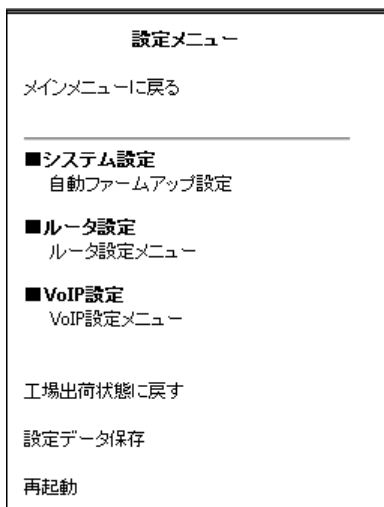


図 2-1-5-2 : 設定メニュー

2.2 使用方法

Web 保守コンソールのご利用方法及び各メニューの詳細内容について説明します。

画面構成は下表の通りです。

また、「NTT 東日本」と「NTT 西日本」の場合では、初期値及び画面構成が異なります。

表 1 画面構成 (NTT 東日本)

メニュー	サブメニュー-1	サブメニュー-2	参照	
設定メニュー	自動ファームアップ設定		2.2.1.2 自動ファームアップ設定	
	ルータ設定メニュー	LAN インタフェース設定		2.2.1.3 LAN インタフェース設定
		WAN インタフェース設定		2.2.1.4 WAN インタフェース設定
		UPnP 設定		2.2.1.5 UPnP 設定
		PPPoE ブリッジ設定		2.2.1.6 PPPoE ブリッジ設定
		IPv6 ブリッジ設定		2.2.1.7 IPv6 ブリッジ設定
		DHCP サーバ設定		2.2.1.8 DHCP サーバ設定
		固定割り付けテーブル設定		2.2.1.9 固定割り付けテーブル設定
		ProxyDNS 設定		2.2.1.10 ProxyDNS 設定
		ホストテーブル設定		2.2.1.11 ホストテーブル設定
		アドレス変換設定		2.2.1.12 アドレス変換設定
		ルーティング設定		2.2.1.13 ルーティング設定
		フィルタリング設定		2.2.1.14 フィルタリング設定
		工場出荷状態に戻す		2.2.1.16 設定データ初期化
	VoIP 設定メニュー	詳細設定		2.2.1.15 詳細設定
		工場出荷状態に戻す		2.2.1.16 設定データ初期化
		工場出荷状態に戻す		2.2.1.16 設定データ初期化
	設定データ保存		2.2.1.17 設定データ保存	
レポート表示	インタフェース状態表示		2.2.1.18 インタフェース状態表示	
	パケット統計情報表示		2.2.1.19 パケット統計情報表示	
	ARP テーブル表示		2.2.1.20 ARP テーブル表示	
	DNS キャッシュテーブル表示		2.2.1.21 DNS キャッシュテーブル表示	
	IP ルーティング情報表示		2.2.1.22 IP ルーティング情報表示	
	DHCP 割り付け状態表示		2.2.1.23 DHCP 割り付け状態表示	
	障害ログ表示		2.2.1.24 障害ログ表示	
	通話ログ表示		2.2.1.25 通話ログ表示	
	ログデータ保存		2.2.1.26 ログデータ保存	
設定一覧表示			2.2.1.27 設定一覧表示	
ファームアップ	自動ファームアップ設定		2.2.1.28 自動ファームアップ設定	
	ローカルファームアップ設定		2.2.1.29 ローカルファームアップ設定	
再起動			2.2.1.30 再起動	

表 2 画面構成 (NTT 西日本)

メニュー	サブメニュー-1	サブメニュー-2	参照
設定メニュー	自動ファームアップ設定		2.2.2.2 自動ファームアップ設定
	ルータ設定メニュー	LAN インタフェース設定	2.2.2.3 LAN インタフェース設定
		DHCP サーバ設定	2.2.2.4 DHCP サーバ設定
	VoIP 設定メニュー	工場出荷状態に戻す	2.2.2.6 設定データ初期化
		詳細設定	2.2.2.5 詳細設定
		工場出荷状態に戻す	2.2.2.6 設定データ初期化
	工場出荷状態に戻す		2.2.2.6 設定データ初期化
	設定データ保存		2.2.2.7 設定データ保存
レポート表示	インタフェース状態表示		2.2.2.8 インタフェース状態表示
	パケット統計情報表示		2.2.2.9 パケット統計情報表示
	ARP テーブル表示		2.2.2.10 ARP テーブル表示
	DHCP 割り付け状態表示		2.2.2.11 DHCP 割り付け状態表示
	障害ログ表示		2.2.2.12 障害ログ表示
	通話ログ表示		2.2.2.13 通話ログ表示
	ログデータ保存		2.2.2.14 ログデータ保存
設定一覧表示			2.2.2.15 設定一覧表示
ファームアップ	自動ファームアップ設定		2.2.2.16 自動ファームアップ設定
	ローカルファームアップ設定		2.2.2.17 ローカルファームアップ設定
再起動			2.2.2.18 再起動

(注意!!)

Web 保守コンソールで設定を変更した場合は、Web ブラウザを閉じる前に「再起動」ボタンをクリックし、設定内容を本ユニットに反映させて下さい。

2.2.1 NTT 東日本の場合

以下はNTT 東日本の場合について説明します。

2.2.1.1 メニュー

メニューの遷移を以下に示します。

①メインメニュー

ログイン後、または再起動後に表示するメニューです。

設定メニュー レポート表示 設定一覧表示 ファームアップ 再起動	Version	07.90.0002
	Date	2007.08.24
	MAC Address (LAN)	00-02-2B-A0-2F-94
	MAC Address (WAN)	00-02-2B-A0-2F-95
	Service Type	ひかり電話オフィスタイプ(NTT東日本)

設定上の注意

- 各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定」ボタンをクリックして下さい。
- データ設定中、「元に戻す」ボタンをクリックすることにより設定を取り消すことが出来ます。
- 設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され有効になります。
- 設定を変更した場合は、設定データ保存後、必ずユニットを再起動して下さい。
- 設定データ保存を行わずに電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。
- ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用下さい。

図 2-2-1-1-1 : メインメニュー画面

【メインメニュー項目の説明】

メニュー項目	説明	遷移先
設定メニュー	システム設定、ルータ設定、VoIP 設定	②設定メニュー画面
レポート表示	インタフェース状態表示、障害ログ、通話ログ等を表示します。	③レポート表示画面
設定一覧表示	ユニットの設定一覧を表示します。	「2.2.1.27 設定一覧表示」画面
ファームアップ	自動ファームアップ、ローカルファームアップを行います。	④ファームアップ画面
再起動	ユニットの再起動を行います。	「2.2.1.30 再起動」画面

②設定メニュー

「設定メニュー」クリック時に表示するメニューです。システム設定、ルータ設定、VoIP 設定。

設定メニュー	設定上の注意
メインメニューに戻る ■システム設定 自動ファームアップ設定 ■ルータ設定 ルータ設定メニュー ■VoIP設定 VoIP設定メニュー 工場出荷状態に戻す 設定データ保存 再起動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定」ボタンをクリックして下さい。 ・ データ設定中、「元に戻す」ボタンをクリックすることにより設定を取り消すことができます。 ・ 設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され有効になります。 ・ 設定を変更した場合は、設定データ保存後、必ずユニットを再起動して下さい。 ・ 設定データ保存を行わずに電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。 ・ ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用下さい。

図 2-2-1-1-2 : 設定メニュー画面

【設定メニュー項目の説明】

メニュー項目	説明	遷移先
自動ファームアップ設定	自動ファームアップの設定を行います。	「2.2.1.2 自動ファームアップ設定」画面
ルータ設定メニュー	ルータの設定を行います。	⑤ルータ設定メニュー画面
VoIP 設定メニュー	VoIP の詳細設定を行います。	⑥VoIP 設定メニュー画面
工場出荷状態に戻す	全設定データを工場出荷状態に戻します。	「2.2.1.16 設定データ初期化」画面
設定データ保存	設定データの保存を行います。	「2.2.1.17 設定データ保存」画面
再起動	ユニットの再起動を行います。	「2.2.1.30 再起動」画面

③レポート表示メニュー

「レポート表示」クリック時に表示するメニューです。各種表示を参照します。

レポート表示メニュー	設定上の注意
メインメニューに戻る	
インタフェース状態表示 パケット統計情報表示 ARPテーブル表示 DNSキャッシュテーブル表示 IPルーティング情報表示 DHCP割り付け状態表示 障害ログ表示 通話ログ表示 ログデータ保存	<ul style="list-style-type: none"> 各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定」ボタンをクリックして下さい。 データ設定中、「元に戻る」ボタンをクリックすることにより設定を取り消すことができます。 設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され有効になります。 設定を変更した場合は、設定データ保存後、必ずユニットを再起動して下さい。 設定データ保存を行わずに電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。 ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にご使用下さい。

図 2-2-1-1-3 : レポート表示メニュー画面

【レポート表示メニュー項目の説明】

メニュー項目	説明	遷移先
インタフェース状態表示	各インタフェースの状態を表示します。	「2. 2. 1. 18 インタフェース状態表示」画面
パケット統計情報表示	パケットの統計情報を表示します。	「2. 2. 1. 19 パケット統計情報表示」画面
ARP テーブル表示	ARP テーブルを表示します。	「2. 2. 1. 20 ARP テーブル表示」画面
DNS キャッシュテーブル表示	DNS キャッシュテーブルを表示します。	「2. 2. 1. 21 DNS キャッシュテーブル表示」画面
IP ルーティング情報表示	ルーティング情報一覧を表示します。	「2. 2. 1. 22 IP ルーティング情報表示」画面
DHCP 割り付け状態表示	DHCP の割り付け状態を表示します。	「2. 2. 1. 23 DHCP 割り付け状態表示」画面
障害ログ表示	障害ログを表示します。	「2. 2. 1. 24 障害ログ表示」画面
通話ログ表示	通話ログを表示します。	「2. 1. 2. 25 通話ログ表示」画面
ログデータ保存	障害ログ、通話ログデータを保存します。	「2. 2. 1. 26 ログデータ保存」画面

④ファームアップメニュー

「ファームアップ」クリック時に表示するメニューです。自動またはローカルファームアップを行います。

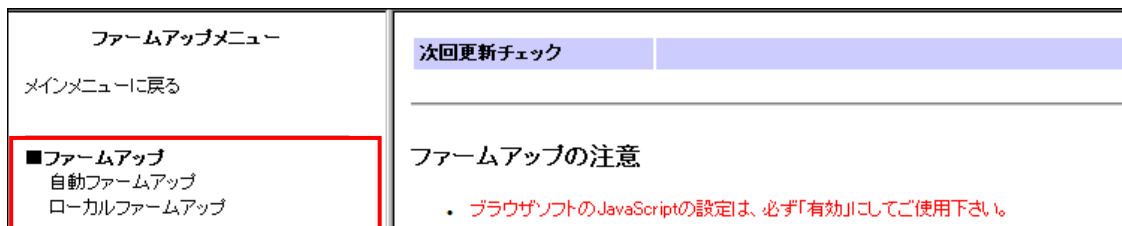


図 2-2-1-1-4 : ファームアップメニュー画面

【ファームアップメニュー項目の説明】

メニュー項目	説明	遷移先
自動ファームアップ	(手動による) 自動ファームアップを行います。	「2. 2. 1. 28 自動ファームアップ設定」画面
ローカルファームアップ	ローカルファームアップを行います。	「2. 2. 1. 29 ローカルファームアップ」画面

⑤ルータ設定メニュー

「ルータ設定メニュー」クリック時に表示するメニューです。ルータの設定を行います。

ルータ設定メニュー	設定上の注意
設定メニューに戻る ■ インタフェース設定 LANインタフェース WANインタフェース UPnP PPPoEブリッジ IPv6ブリッジ ■ DHCPサーバ設定 DHCPサーバ 固定割り付けテーブル ■ DNS設定 ProxyDNS ホストテーブル ■ アドレス変換設定 アドレス変換 ■ ルーティング設定 ルーティング ■ フィルタリング設定 フィルタリング 工場出荷状態に戻す 設定データ保存 再起動	設定上の注意 <ul style="list-style-type: none"> 各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定」ボタンをクリックして下さい。 データ設定中、「元に戻る」ボタンをクリックすることにより設定を取り消すことが出来ます。 設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され有効になります。 設定を変更した場合は、設定データ保存後、必ずユニットを再起動して下さい。 設定データ保存を行わずに電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。 ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用下さい。

図 2-2-1-1-5 : ルータ設定メニュー画面

【ルータ設定メニュー項目の説明】

メニュー項目	説明	遷移先
LAN インタフェース	LAN 側のインタフェース設定を行います。	「2. 2. 1. 3 LAN インタフェース設定」画面
WAN インタフェース	WAN 側のインタフェース設定を行います。	「2. 2. 1. 4 WAN インタフェース設定」画面
UPnP 設定	UPnP 設定を行います。	「2. 2. 1. 5 UPnP 設定」画面
PPPoE ブリッジ	PPPoE ブリッジ設定を行います。	「2. 2. 1. 6 PPPoE ブリッジ設定」画面
IPv6 ブリッジ	IPv6 ブリッジ設定を行います。	「2. 2. 1. 7 IPv6 ブリッジ設定」画面
DHCP サーバ	DHCP サーバ設定を行います。	「2. 2. 1. 8 DHCP サーバ設定」画面
固定割り付けテーブル	固定割り付けテーブル設定を行います。	「2. 2. 1. 9 固定割り付けテーブル設定」画面
ProxyDNS	ProxyDNS 設定を行います。	「2. 2. 1. 10 ProxyDNS 設定」画面
ホストテーブル	ホストテーブル設定を行います。	「2. 2. 1. 11 ホストテーブル設定」画面
アドレス変換	NAT 設定、静的 NAT 設定を行います。	「2. 2. 1. 12 アドレス変換設定」画面
ルーティング	ダイナミックルーティング、デフォルトルート等の設定を行います。	「2. 2. 1. 13 ルーティング設定」画面
フィルタリング	フィルタリング設定を行います。	「2. 2. 1. 14 フィルタリング設定」画面
工場出荷状態に戻す	全設定データを工場出荷状態に戻します	「2. 2. 1. 16 設定データ初期化」画面
設定データ保存	設定データの保存を行います。	「2. 2. 1. 17 設定データ保存」画面
再起動	ユニットの再起動を行います。	「2. 2. 1. 30 再起動」画面

⑥VoIP 設定メニュー

「VoIP 設定メニュー」クリック時に表示するメニューです。VoIP の設定を行います。

<p style="text-align: center;">VoIP設定メニュー</p> <p>設定メニューに戻る</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>■VoIP設定 詳細設定</p> </div> <p>工場出荷状態に戻す</p> <p>設定データ保存</p> <p>再起動</p>	<p>設定上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各設定項目において、データの登録／変更／削除を行った場合は、必ず「設定」ボタンをクリックして下さい。 ・ データ設定中、「元に戻す」ボタンをクリックすることにより設定を取り消すことができます。 ・ 設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され有効になります。 ・ 設定を変更した場合は、設定データ保存後、必ずユニットを再起動して下さい。 ・ 設定データ保存を行わずに電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。 ・ ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用下さい。
--	--

図 2-2-1-1-6 : VoIP 設定メニュー画面

【VoIP 設定メニュー項目の説明】

メニュー項目	説明	遷移先
詳細設定	エコーキャンセラ制御、ゲイン設定等を行います。	「2. 2. 1. 15 詳細設定」画面
工場出荷状態に戻す	全設定データを工場出荷状態に戻します	「2. 2. 1. 16 設定データ初期化」画面
設定データ保存	設定データの保存を行います。	「2. 2. 1. 17 設定データ保存」画面
再起動	ユニットの再起動を行います。	「2. 2. 1. 30 再起動」画面

2.2.1.2 自動ファームアップ設定

自動ファームアップを行うための設定を行います。

自動ファームアップ設定
自動ファームアップに関する設定を行います。

自動ファームアップ機能	有効 ▾
取得間隔	3 日 (設定範囲: 1~10)
取得開始時刻	02 : 00 (設定範囲: 00:00~23:59)
サーバアドレス	firm.saxa.biz

図 2-2-1-2 : 自動ファームアップ設定画面

【自動ファームアップ設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
自動ファームアップ機能	自動ファームアップの「有効/無効」を設定します。	有効/無効	有効
取得間隔	自動ファームアップを実施する間隔を設定します。	1日~10日	03日
取得開始時刻	自動ファームアップを開始する時刻を設定します。自動ファームアップ開始は設定された時間から2時間以内に実行されます。	00時00分~23時59分	02時00分
サーバアドレス	自動ファームアップ用サーバのIPアドレスを設定します。また自動ファームアップ用サーバドメイン名でも設定可能です。	半角英数字で最大128文字	firm.saxa.biz

2.2.1.3 LAN インタフェース設定

LAN 側のインタフェース設定を行います。

LANインタフェース設定

LANインタフェースの設定を行います。

インタフェース名	<input style="width: 80%;" type="text" value="LAN1"/>
IPアドレス	<input style="width: 20%;" type="text" value="192"/> . <input style="width: 20%;" type="text" value="168"/> . <input style="width: 20%;" type="text" value="1"/> . <input style="width: 20%;" type="text" value="254"/>
サブネットマスク	<input style="width: 80%;" type="text" value="24"/> bit

図 2-2-1-3 : LAN インタフェース設定画面

【LAN インタフェース設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
インタフェース名	LAN インタフェースの名称を入力します。	最大 8 文字 (A~Z, a~z, 0~9, -, /, _)	LAN1
IP アドレス	LAN インタフェースの IP アドレスを入力します。	0.0.0.0~255.255.255.255	192.168.1.254
サブネットマスク	LAN インタフェースのサブネットマスクのビット数を入力します。	1bit~30bit	24bit

2.2.1.4 WAN インタフェース設定

WAN 側のインタフェース設定を行います。PPPoE1~3 設定、。WAN 側インタフェースは、PPPoE で最大 3 本構成することができます。

●一覧画面

WANインタフェース設定	
WANインタフェースの設定を行います。	
PPPoE設定 設定を行う場合はインタフェース名をクリックして下さい。	
インタフェース名	セッション
PPPoE 1	有効
PPPoE 2	無効
PPPoE 3	無効

図 2-2-1-4 : WAN インタフェース設定一覧画面

【WAN インタフェース設定一覧項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
《PPPoE 設定》			
PPPoE_1	PPPoE_1 のセッション状態を表示します。	-	有効
PPPoE_2	PPPoE_2 のセッション状態を表示します。	-	-
PPPoE_3	PPPoE_3 のセッション状態を表示します。	-	-

2.2.1.5 UPnP 設定

UPnP 機能 (IGD) の設定を行います。

UPnP 設定

UPnPを利用する接続先を設定します。

UPnP機能(IGD)利用接続先

図 2-2-1-5 : UPnP 機能 (IGD) 設定画面

【UPnP 機能 (IGD) 設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
UPnP 機能 (IGD) 利用接続先	UPnP (IGD) を利用するインターフェースを選択します。	なし/PPPoE_1/PPPoE_2/PPPoE_3	なし

※補足説明

- セキュリティ上、WAN からの HTTP ポート (TCP : 80 ポート) アクセスを拒否しています。Web カメラ等を LAN 配下で使用し UPnP で接続する場合、80 ポート以外のポート番号を使用してください。80 ポートを使用していた場合、WAN から Web カメラ等へのアクセスが行えません。
- Windows Messenger を使用する場合、動作可能な機能は以下のとおりです。
 - ・インスタントメッセージ
 - ・音声チャット
 - ・ビデオチャット
 - ・アプリケーション共有
 - ・ホワイトボード
 - ・リモートアシスタンス

2.2.1.6 PPPoE ブリッジ設定

PPPoE ブリッジ機能の設定を行います。LAN インタフェースに接続されている端末から PPPoE プロトコルで直接インターネットに接続し、端末にグローバル IP アドレスを付与することができます。

PPPoEブリッジ設定

PPPoEブリッジの設定を行います。

PPPoEブリッジ接続

図 2-2-1-6 : PPPoE ブリッジ設定画面

【PPPoE ブリッジ設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
PPPoE ブリッジ接続	PPPoE ブリッジ接続「する／しない」を選択します。	する／しない	しない

2.2.1.7 IPv6 ブリッジ設定

IPv6 ブリッジ機能の設定を行います。LAN/WAN インタフェースに接続されているネットワーク機器同士で IPv6 プロトコルによる通信を行うことができます。

IPv6ブリッジ設定
IPv6ブリッジの設定を行います。

IPv6ブリッジ接続

図 2-2-1-7 : IPv6 ブリッジ設定画面

【IPv6 ブリッジ設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPv6 ブリッジ接続	IPv6 ブリッジ接続「する／しない」を選択します。	する／しない	しない

2.2.1.8 DHCP サーバ設定

DHCP サーバ機能の設定を行います。LAN 側に接続されている装置へ IP アドレスを自動的に割り当てることができます。

DHCPサーバ設定

DHCPサーバの設定を行います。

DHCPサーバ機能	有効
割り付け先頭IPアドレス	192 . 168 . 1 . 1
割り付け数	64 (設定範囲:1~64)
リース時間	24 hour (設定範囲:0~1000)
プライマリWINSサーバアドレス	. . .
セカンダリWINSサーバアドレス	. . .
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 1 . 254

図 2-2-1-8 : DHCP サーバ設定画面

【DHCP サーバ 設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
DHCP サーバ機能	アドレス割り付け機能の「有効/無効」を選択します。	有効/無効	有効
割り付け先頭 IP アドレス	クライアントに割り付けるアドレス範囲の先頭 IP アドレスを入力します。(注1)、(注3)	0.0.0.0~255.255.255.255	192.168.1.1
割り付け数	割り付け先頭 IP アドレスで指定したアドレスから割り付けを行うアドレスの数を入力します。(注1)	半角数字 (1~64)	64
リース時間	クライアントに割り付ける IP アドレスの使用期限を入力します。(注1)(注2)	半角数字 (0~1000)	24
プライマリ WINS サーバアドレス	通知するプライマリWINSサーバの IP アドレスを入力します。(注1)	0.0.0.0~255.255.255.255	(空白)
セカンダリ WINS サーバアドレス	通知するセカンダリWINSサーバの IP アドレスを入力します。(注1)	0.0.0.0~255.255.255.255	(空白)
デフォルトゲートウェイ	通知するデフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。(注1)、(注3)	0.0.0.0~255.255.255.255	192.168.1.254

(注1) ただし、DHCP サーバ機能を「有効」にした場合のみ有効となります。

(注2) 値を「0」にした場合は無制限のリースとなります。

(注3) LAN インタフェース設定の IP アドレスが変更されると、自動的に変更されます。

2.2.1.9 固定割り付けテーブル設定

固定割り付けテーブルの設定を行います。本ユニットに接続される装置のホスト名および MAC アドレスが一致した場合に、静的に IP アドレスを割り当てます。

●一覧画面

固定割り付けテーブル設定

固定割り付けテーブルの設定を行います。
最大8個まで設定可能です。

固定割り付けテーブルの変更、削除を行う場合は、No.の数字をクリックして下さい。
新たに設定する場合は、「新規」ボタンをクリックして下さい。

固定割り付けテーブル

No.	IPアドレス	ホスト名	MACアドレス
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px; margin-bottom: 5px;">新規</div>			

図 2-2-1-9-1 : 固定割り付けテーブル設定一覧画面

【固定割り付けテーブル設定一覧項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
No.	テーブル番号を表示します。	-	-
IP アドレス	本ユニット配下 (LAN 側) に接続される装置に自動的に割り付ける IP アドレスを表示します。	-	-
ホスト名	上記 IP アドレスに対応するホスト名を表示します。	-	-
MAC アドレス	上記 IP アドレスに対応する MAC アドレスを表示します。	-	-

(注 1) LAN インタフェース設定の IP アドレス、またはサブネットマスクが変更されると自動的に全て消去されます。

●編集画面

固定割り付けテーブル設定

固定割り付けテーブルの設定を行います。
最大8個まで設定可能です。

IPアドレス	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
ホスト名	<input type="text"/>
MACアドレス	<input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>

図 2-2-1-9-2 : 固定割り付けテーブル設定画面

【固定割り付けテーブル設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IP アドレス	本ユニット配下 (LAN 側) に接続される装置に静的に割り当てる IP アドレスを入力します。	0. 0. 0. 0~255. 255. 255. 255	(空白)
ホスト名	上記 IP アドレスを割り当てるためのホスト名を入力します。MAC アドレスを入力した場合は省略が可能です。	半角英数字で最大 32 文字	(空白)
MAC アドレス	上記 IP アドレスを割り当てるための MAC アドレスを入力します。ホスト名を入力した場合は省略が可能です。	00. 00. 00. 00. 00. 00 ~FF. FF. FF. FF. FF. FF	(空白)

※補足説明 :

ホスト名、MAC アドレス両方を記述した場合は、両方の値が一致した場合のみ IP アドレスを割り当てます。

2.2.1.10 ProxyDNS 設定

ProxyDNS 機能の設定を行います。ProxyDNS 機能を「有効」にすることで、本ユニットが代理で DNS 解決をします。

ProxyDNS 設定

ProxyDNS機能の設定を行います。
ProxyDNS機能が[有効]の場合、DNSサーバアドレス通知設定は無効となります。
ProxyDNS機能が[無効]の場合、ホストテーブルの設定は無効となります。

ProxyDNS機能	<input type="button" value="有効"/>
問い合わせ先取得方法	<input type="button" value="自動取得"/>
問い合わせ先プライマリDNSサーバアドレス	<input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/>
問い合わせ先セカンダリDNSサーバアドレス	<input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/>
DNSサーバアドレス通知	<input type="button" value="しない"/>
通知プライマリDNSサーバアドレス	<input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/>
通知セカンダリDNSサーバアドレス	<input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/>

図 2-2-1-10 : ProxyDNS 設定画面

【ProxyDNS 設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ProxyDNS 機能	ProxyDNS 機能の「有効/無効」を選択します。本ユニットが代理で DNS を解決してくれます。DNS 解決できない場合は上位サーバに問い合わせを行います。	有効/無効	有効
問い合わせ先取得方法	本ユニットにて DNS 解決できない場合、上位の DNS サーバに問い合わせするためのインタフェースを選択します。	自動取得/問い合わせ先アドレス指定	自動取得
問い合わせ先プライマリ DNS サーバアドレス	優先的に問い合わせを行う DNS サーバアドレスを入力します。ただし、問い合わせ先取得方法を「問い合わせ先アドレス指定」にした場合のみ有効となります。(注1)	0.0.0.0~255.255.255.255	(空白)
問い合わせ先セカンダリ DNS サーバアドレス	プライマリ DNS サーバの応答がなかった場合、次に問い合わせを行う DNS サーバアドレスを入力します。ただし、問い合わせ先取得方法を「問い合わせ先アドレス指定」にした場合のみ有効となります。(注1)	0.0.0.0~255.255.255.255	(空白)
DNS サーバアドレス通知	DNS サーバより DNS サーバアドレスを通知してもらうかを選択します。ただし、ProxyDNS 機能を「無効」にした場合のみ有効となります。	する/しない	しない
通知プライマリ DNS サーバアドレス	通知するプライマリ DNS サーバアドレスを入力します。ただし、ProxyDNS 機能を「無効」及び DNS サーバアドレス通知を「する」にした場合のみ有効となります。(注2)	0.0.0.0~255.255.255.255	(空白)
通知セカンダリ DNS サーバアドレス	通知するセカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。ただし、ProxyDNS 機能を「無効」及び DNS サーバアドレス通知を「する」にした場合のみ有効となります。(注2)	0.0.0.0~255.255.255.255	(空白)

(注1) 問い合わせ先取得方法「自動設定」の場合、自動的に(空白)となります。

(注2) DNS サーバアドレス通知が「しない」の場合、自動的に(空白)となります。

2.2.1.11 ホストテーブル設定

ホストテーブルの設定を行います。本ユニットに接続される装置のホスト名が一致した場合に、静的に IP アドレスを割り当てます。

●一覧画面

ホストテーブル設定

ProxyDNSのホストテーブルの設定を行います。
最大32個まで設定可能です。

ホストテーブルの変更、削除を行う場合は、No.の数字をクリックして下さい。
新たに設定する場合は、「新規」ボタンをクリックして下さい。

ProxyDNSホストテーブル

No.	ホスト名	IPアドレス
<div style="border: 1px solid gray; display: inline-block; padding: 2px 5px; margin-bottom: 5px;">新規</div>		

図 2-2-1-11-1 : ホストテーブル設定一覧画面

【ホストテーブル設定一覧項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
No.	ホストテーブル設定のテーブル番号を表示します。	-	-
ホスト名	テーブルに登録したホスト名を表示します。	-	-
IP アドレス	ホスト名に対して割り付けた IP アドレスを表示します。	-	-

●編集画面

ホストテーブル設定

ProxyDNSのホストテーブルの設定を行います。
最大32個まで設定可能です。

ホスト名	<input type="text"/>
IPアドレス	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>

図 2-2-1-11-2 : ホストテーブル設定画面

【ホストテーブル設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ホスト名	テーブルに登録するホスト名を入力します。	半角英数字で最大 32 文字	(空白)
IP アドレス	ホスト名に対して割り付ける IP アドレスを入力します。	0. 0. 0. 0~255. 255. 255. 255	(空白)

2.2.1.12 アドレス変換設定

NAT 設定、静的 NAT 設定を行います。

●一覧画面

アドレス変換設定

アドレス変換に関する設定を行います。

NAT 設定

WAN インタフェース毎にアドレス変換方式、静的 NAT の変換テーブルの設定を行います。
設定を変更する場合は、インタフェース名をクリックして下さい。

インタフェース名	アドレス変換方式
PPPoE 1	端末型変換
PPPoE 2	端末型変換
PPPoE 3	端末型変換

静的 NAT 設定

静的 NAT の変更、削除を行う場合は、No. の数字をクリックして下さい。
新たに設定する場合は、「新規」ボタンをクリックして下さい。
最大16個まで設定可能です。

No.	プロトコル	開始ポート番号	終了ポート番号	IP アドレス
<input type="button" value="新規"/>				

図 2-2-1-12-1 : アドレス変換設定一覧画面

【アドレス変換設定一覧項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
《NAT 設定》			
PPPoE_1	PPPoE_1 のアドレス変換方式を表示します。	-	-
PPPoE_2	PPPoE_2 のアドレス変換方式を表示します。	-	-
PPPoE_3	PPPoE_3 のアドレス変換方式を表示します。	-	-
《静的 NAT 設定》			
No.	静的 NAT 設定テーブルの番号を表示します。	-	-
プロトコル	変換の対象となるプロトコルを表示します。	-	-
開始ポート番号	上記プロトコルの開始ポート番号を表示します。	-	-
終了ポート番号	上記プロトコルの終了ポート番号を表示します。	-	-
IP アドレス	上記3項目に一致したパケットに対して、アドレス変換を行うローカル IP アドレスを表示します。	-	-

●編集画面
=NAT 設定=

NAT 設定

WAN インタフェース毎にアドレス変換方式、静的 NAT の変換テーブルの設定を行います。

インタフェース名	PPPoE_1
IP アドレス変換方式	端末型変換 ▾
割り当てられた IP アドレス	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>

IP アドレス変換テーブル

No.	グローバル IP アドレス	ローカル IP アドレス
1	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
2	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
3	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
4	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
5	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
6	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
7	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
8	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
9	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
10	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
11	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
12	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
13	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
14	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
15	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
16	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>

図 2-2-1-12-2 : NAT 設定画面

【NAT 設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
インタフェース名	WAN インタフェースで登録したインタフェース名が表示されます。	—	—
IP アドレス変換方式	ローカル IP アドレスをグローバル IP アドレスに変換し通信するための変換方式を選択します。	しない / LAN 型変換 / 端末型変換	端末型変換
割り当てられた IP アドレス	WAN 側のセッションにプロバイダから割り当てられたグローバル IP アドレスを入力します。ただし、IP アドレス変換方式を「LAN 型変換」にした場合のみ有効となります。	0.0.0.0~255.255.255.255	(空白)
アドレス変換テーブル	プロバイダから割り当てられたグローバル IP アドレスと対応させて変換させるローカル IP アドレスを入力します。ただし、IP アドレス変換方式を「LAN 型変換」にした場合のみ有効となります。	0.0.0.0~255.255.255.255	(空白)

＝静的NAPT設定＝

静的NAPT設定
 静的NAPTの設定を行います。最大16個まで設定可能です。

プロトコル	TCP
開始ポート番号	<input type="text"/> <設定範囲: 0~65535>
終了ポート番号	<input type="text"/> <設定範囲: 0~65535>
IPアドレス	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>

図 2-2-1-12-3 : 静的 NAPT 設定画面

【静的 NAPT 設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロトコル	変換の対象となるプロトコルを選択します。	TCP/UDP/TCP/UDP	TCP
開始ポート番号	上記プロトコルの開始ポート番号を入力します。	半角数字 (0~65535)	(空白)
終了ポート番号	上記プロトコルの終了ポート番号を入力します。	半角数字 (0~65535)	(空白)
IP アドレス	上記3項目に一致したパケットに対して、アドレス変換を行うローカル IP アドレスを入力します。	0. 0. 0. 0~255. 255. 255. 255	(空白)

2.2.1.13 ルーティング設定

ダイナミックルーティング、デフォルトルート、スタティック IP ルーティング、ソースルーティング、ドメインルーティングの設定を行います。

●一覧画面

ルーティング設定

IPアドレスによるルーティングの設定を行います。

ダイナミックルーティング

ダイナミックルーティング機能	無効 ▾
ルーティング情報送受	無効 ▾

デフォルトルート

経路先	PPPoE_1 ▾
経路先IPアドレス	<input style="width: 20px;" type="text"/> . <input style="width: 20px;" type="text"/> . <input style="width: 20px;" type="text"/> . <input style="width: 20px;" type="text"/>
ホップ数	<input style="width: 20px;" type="text"/> (設定範囲:1~16)

スタティックIPルーティング

スタティックIPルーティングの変更、削除を行う場合は、No.の数字をクリックして下さい。
 新たに設定する場合は、「新規」ボタンをクリックして下さい。
 最大16個まで設定可能です。

No.	IPアドレス	サブネットマスク	経路先	ホップ数
<input type="button" value="新規"/>				

ソースルーティング

ソースルーティングの変更、削除を行う場合は、No.の数字をクリックして下さい。
 新たに設定する場合は、「新規」ボタンをクリックして下さい。
 最大4個まで設定可能です。

No.	IPアドレス	サブネットマスク	経路先	ホップ数
<input type="button" value="新規"/>				

ドメインルーティング

ドメインルーティングの変更、削除を行う場合は、No.の数字をクリックして下さい。
 新たに設定する場合は、「新規」ボタンをクリックして下さい。
 最大8個まで設定可能です。

No.	ドメイン名	経路先	DNSサーバアドレス	ホップ数
<input type="button" value="新規"/>				

図 2-2-1-13-1 : ルーティング設定一覧画面

【ルーティング設定一覧項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
《ダイナミックルーティング》			
ダイナミックルーティング機能	動的（ダイナミック）ルーティング機能の「有効／無効」を選択します。本ユニットに接続されている装置からのルーティング情報を元にルーティングテーブルを作成し、ルーティング経路を動的に決定します。（RIP 受信）	有効／無効	無効
ルーティング情報送出	ルーティング情報送出の「有効／無効」を入力します。ルーティング情報を上記機能で決定した経路先に通知します。（RIP 送信）但し、ダイナミックルーティング機能を「有効」にした場合のみ有効となります。	有効／無効	無効
《デフォルトルート》			
経路先	ルーティングする経路先のインタフェースを選択します。	経路先 IP アドレス指定／LAN1／PPPoE_1／PPPoE_2／PPPoE_3	PPPoE_1
経路先 IP アドレス	ルーティングする経路先の IP アドレスを入力します。ただし、経路先を「経路先 IP アドレス指定」にした場合のみ有効となります。	0.0.0.0～255.255.255.255	（空白）
ホップ数	経路先との距離を入力します。	半角数字（1～16）	1
《スタティック IP ルーティング》			
No.	スタティック IP ルーティングテーブルのテーブル番号を表示します。	-	-
IP アドレス	ルーティングする送信先 IP アドレスを表示します。	-	-
サブネットマスク	ルーティングする送信先 IP アドレスのサブネットマスクを表示します。	-	-
経路先	ルーティングする経路先のインタフェースを表示します。	-	-
ホップ数	経路先との距離を表示します。	-	-
《ソースルーティング》			
No.	ソースルーティングテーブルのテーブル番号を表示します。	-	-
IP アドレス	ルーティングする送信元 IP アドレスを表示します。	-	-
サブネットマスク	ルーティングする送信元 IP アドレスのサブネットマスクを表示します。	-	-
経路先	ルーティングする経路先のインタフェースを表示します。	-	-
ホップ数	経路先との距離を表示します。	-	-
《ドメインルーティング》			
No.	ドメインルーティングテーブルのテーブル番号を表示します。	-	-
ドメイン名	ルーティングを対象とするドメイン名を表示します。	-	-
経路先	ルーティングする経路先のインタフェースを表示します。	-	-
DNS サーバアドレス	ドメイン名を問い合わせる DNS サーバの IP アドレスを表示します。	-	-
ホップ数	経路先との距離を表示します。	-	-

●編集画面

=スタティック IP ルーティング設定=

スタティックIPルーティング設定

スタティックIPルーティングの設定を行います。
送信先IPアドレスによるルーティング設定を最大16個まで設定可能です。

IPアドレス	<input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text" value="."/> . <input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text" value="."/> . <input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text" value="."/> . <input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text" value="."/>
サブネットマスク	<input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text" value="."/> bit
経路先	<input style="width: 100%; border: 1px solid black;" type="text" value="経路先IPアドレス指定"/>
経路先IPアドレス	<input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text" value="."/> . <input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text" value="."/> . <input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text" value="."/> . <input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text" value="."/>
ホップ数	<input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text" value="."/> (設定範囲:1~16)

図 2-2-1-13-2 : スタティック IP ルーティング設定画面

【スタティック IP ルーティング設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IP アドレス	ルーティングする送信先 IP アドレスを入力します。	0. 0. 0. 0~255. 255. 255. 255	(空白)
サブネットマスク	ルーティングする送信先 IP アドレスのサブネットマスクを入力します。	1bit~32bit	(空白)
経路先	ルーティングする経路先の指定方法を選択します。	経路先 IP アドレス指定/LAN1/ PPPoE_1/PPPoE_2/PPPoE_3	経路先 IP アドレス 指定
経路先 IP アドレス	ルーティングする経路先の IP アドレスを入力します。	0. 0. 0. 1~255. 255. 255. 255	(空白)
ホップ数	経路先との距離を入力します。	半角数字 (1~16)	(空白)

=ソースルーティング設定=

ソースルーティング設定

ソースルーティングの設定を行います。
送信元IPアドレスによるルーティング設定を最大4個まで設定可能です。

IPアドレス	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
サブネットマスク	<input type="text"/> bit
経路先	経路先IPアドレス指定 ▾
経路先IPアドレス	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
ホップ数	<input type="text"/> (設定範囲:1~16)

図 2-2-1-13-3 : ソースルーティング設定画面

【ソースルーティング設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IP アドレス	ルーティングする送信元 IP アドレスを入力します。	0.0.0.0~255.255.255.255	(空白)
サブネットマスク	ルーティングする送信元 IP アドレスのサブネットマスクを入力します。	1bit~32bit	(空白)
経路先	ルーティングする経路先の指定方法を選択します。	経路先 IP アドレス指定/LAN1/ PPPoE_1/PPPoE_2/PPPoE_3	経路先 IP アドレス 指定
経路先 IP アドレス	経路先の IP アドレスを入力します。	0.0.0.0~255.255.255.255	(空白)
ホップ数	経路先との距離を入力します。	半角数字 (1~16)	(空白)

=ドメインルーティング設定=

ドメインルーティング設定

ドメインルーティングの設定を行います。
ドメイン名によるルーティング設定を最大8個まで設定可能です。

ドメイン名	<input type="text"/>
経路先	<input type="text" value="LAN1"/>
DNSサーバアドレス	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
ホップ数	<input type="text"/> (設定範囲:1~16)

図 2-2-1-13-4 : ドメインルーティング設定画面

【ドメインルーティング設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ドメイン名	ルーティングを対象とするドメイン名を表示します。	半角英数字で最大 128 文字	(空白)
経路先	ルーティングする経路先の指定方法を選択します。	LAN1/PPPoE_1/PPPoE_2/PPPoE_3	LAN1
DNS サーバアドレス	ドメイン名を問い合わせる DNS サーバアドレスを入力します。	0. 0. 0. 0~255. 255. 255. 255	(空白)
ホップ数	経路先との距離を入力します。	半角数字 (1~16)	(空白)

2.2.1.14 フィルタリング設定

パケットをフィルタリングするための設定を行います。

●一覧画面

フィルタリング設定

フィルタリングの設定を行います。最大32個まで設定可能です。

フィルタリング設定テーブルの変更、削除を行う場合は、No.の数字をクリックして下さい。新たに設定する場合は、「新規」ボタンをクリックして下さい。

No.	IPアドレス/サブネットマスク		プロトコル ID	ポート番号		TCPコネクションフラグ						フィルタリング方向	フィルタリング種別	
	送信先	送信元		送信先	送信元	FIN	SYN	RST	PSH	ACK	URG			
1	*	*	*	NetBIOS	*								双方向	フィルタリング
2	*	*	*	*	NetBIOS								双方向	フィルタリング
3	*	*	*	135 (TCP/UDP)	*								双方向	フィルタリング
4	*	*	*	*	135 (TCP/UDP)								双方向	フィルタリング
5	*	*	*	445 (TCP/UDP)	*								双方向	フィルタリング
6	*	*	*	*	445 (TCP/UDP)								双方向	フィルタリング

新規

インタフェース毎に登録されているフィルタリング設定を行います。

接続先	フィルタリング設定					
	1	2	3	4	5	6
全てのインタフェース	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
LAN1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
PPPoE_1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
PPPoE_2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
PPPoE_3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設定

図 2-2-1-14-1 : フィルタリング設定一覧画面

【フィルタリング設定一覧項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
No.	テーブル番号を表示します。	-	-
送信先 IP アドレス/サブネットマスク	フィルタリングするパケットの送信先 IP アドレス及びサブネットマスクを表示する。	-	-
送信元 IP アドレス/サブネットマスク	フィルタリングするパケットの送信元 IP アドレス及びサブネットマスクを表示する。	-	-
プロトコル ID	フィルタリングするパケットのプロトコル ID を表示します。	-	-
送信先ポート番号	フィルタリングするパケットの送信先ポート番号を表示します。	-	-
送信元ポート番号	フィルタリングするパケットの送信元ポート番号を表示します。	-	-
TCP コネクションフラグ	TCP コネクションによるフィルタリングを表示します。	-	-
フィルタリング方向	フィルタリングするパケットの方向を表示します。	-	-
フィルタリング種別	フィルタリングするパケットの種別を表示します。	-	-

※補足説明

図 2-2-1-14-1 の①で登録したルール (No.) ごとに、有効とするインタフェースを②で指定します。

●編集画面

フィルタリング設定

フィルタリングの設定を行います。最大32個まで設定可能です。

送信先IPアドレス	
送信先IPアドレス指定	<input type="checkbox"/> しない
送信先IPアドレス	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
サブネットマスク	<input type="text"/> bit
送信元IPアドレス	
送信元IPアドレス指定	<input type="checkbox"/> しない
送信元IPアドレス	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
サブネットマスク	<input type="text"/> bit
プロトコルID	
プロトコルID指定	<input type="checkbox"/> しない
プロトコルID	<input type="text"/>
送信先ポート	
送信先ポート指定	<input type="checkbox"/> しない
プロトコルID	<input type="text"/> TCP
送信先ポート	<input type="text"/> =X <input type="text"/>
送信元ポート	
送信元ポート指定	<input type="checkbox"/> しない
プロトコルID	<input type="text"/> TCP
送信元ポート	<input type="text"/> =X <input type="text"/>
TCPコネクションフラグ	
TCPコネクションフラグ	<input type="checkbox"/> FIN <input type="checkbox"/> SYN <input type="checkbox"/> RST <input type="checkbox"/> PSH <input type="checkbox"/> ACK <input type="checkbox"/> URG
フィルタリング方向	<input type="text"/> 双方向
フィルタリング種別	<input type="text"/> フィルタリング

図 2-2-1-14-2 : フィルタリング設定画面

【フィルタリング設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
《送信先 IP アドレス》			
送信先 IP アドレス指定	送信先 IP アドレスによるフィルタリングを選択します。	する/しない	しない
送信先 IP アドレス	フィルタリングするパケットの送信先 IP アドレスを入力します。	0.0.0.0~255.255.255.255	(空白)
サブネットマスク	フィルタリングするパケットの送信先 IP アドレスのサブネットマスクを入力します。	1bit~32bit	(空白)
《送信元 IP アドレス》			
送信元 IP アドレス指定	送信元 IP アドレスによるフィルタリングを選択します。	する/しない	しない
送信元 IP アドレス	フィルタリングするパケットの送信元 IP アドレスを入力します。	0.0.0.0~255.255.255.255	(空白)
サブネットマスク	フィルタリングするパケットの送信元 IP アドレスのサブネットマスクを入力します。	1bit~32bit	(空白)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
《プロトコル ID》			
プロトコル ID 指定	プロトコル ID によるフィルタリングを選択します。	しない/TCP/UDP/その他	しない
プロトコル ID	フィルタリングするプロトコル ID を入力します。	半角数字 (0~255)	(空白)
《送信先ポート》			
送信先ポート指定	送信先ポート番号によるフィルタリングを選択します。	しない / FTP / TELNET / DNS / GOPHER / HTTP / HTTPS / POP3 / NetBIOS / SNMP / SMTP / NNTP / NTP / その他	しない
プロトコル ID	フィルタリングするプロトコル ID を選択します。	TCP/UDP/TCP/UDP	TCP
送信先ポート	送信先ポート指定にて「その他」を選択した場合に、送信ポートを入力します。	半角数字 (0~65535) 「=X」「>X」「<X」「<X<」 半角数字 (0~65535)	=X
《送信元ポート》			
送信元ポート指定	送信元ポート番号によるフィルタリングを選択します。	しない / FTP / TELNET / DNS / GOPHER / HTTP / HTTPS / POP3 / NetBIOS / SNMP / SMTP / NNTP / NTP / その他	しない
プロトコル ID	フィルタリングするプロトコル ID を選択します。	TCP/UDP/TCP/UDP	TCP
送信元ポート	送信元ポート指定にて「その他」を選択した場合に、送信ポートを入力します。	半角数字 (0~65535) 「=X」「>X」「<X」「<X<」 半角数字 (0~65535)	=X
《TCP コネクションフラグ》			
TCP コネクションフラグ	TCP コネクションフラグによるフィルタリングを選択します。	FIN/SYN/RST/PSH/ACK/URG	(空白)
《フィルタリング》			
フィルタリング方向	フィルタリングするパケットの方向を選択します。	双方向/受信/送信	双方向
フィルタリング種別	フィルタリングするパケットの種別を選択します。	フィルタリング/フォワーディング	フィルタリング

2.2.1.15 詳細設定

VoIPの詳細設定を行います。

VoIP詳細設定

VoIPに関する詳細設定を行います。
設定を変更するとIP電話が利用できなくなる場合があります。
設定内容に詳しい方以外は設定を変更しないで下さい。

音声受信バッファ	
最大蓄積パケット数	5 (設定範囲:2~10)
開始蓄積パケット数	2 (設定範囲:1~4)
RTCP送信タイム	5 sec
SDES送信周期	1
揺らぎ吸収処理	する
最大許容遅延時間	100 msec
エコーキャンセラ制御	自動
NLP	-32 dB
Flat Delay	0 msec
Decay Step Number	8
Decay Step Size Control	4 msec
ゲイン設定	
送信	0 dB
受信	0 dB

図 2-2-1-15 : 詳細設定画面

【詳細設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
音声受信バッファ (最大蓄積パケット数)	受信した音声パケットを蓄積できる最大数を入力します。揺らぎ吸収処理を「しない」にした場合のみ有効となります。	半角数字 (2~10)	5
音声受信バッファ (開始蓄積パケット数)	音声を再生するまでに蓄積するパケット数を入力します。揺らぎ吸収処理を「しない」にした場合のみ有効となります。	半角数字 (1~4)	2
RTCP 送信タイム	ネットワークに送出する音声制御パケット (RTCP パケット) を送出する周期を選択します。	5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15	5
SDES 送信周期	RTCP パケットに送出者の情報を追加する処理を何回ごとに行うかを選択します。	1/2	1
揺らぎ吸収処理	揺らぎ吸収処理の「する/しない」を選択します。	する/しない	する
最大許容遅延時間	揺らぎ吸収用のバッファの上限値を (時間で) 選択します。揺らぎ吸収処理を「する」にした場合のみ有効となります。	20/40/60/80/100/120/140/160/180/200	100

設定項目	説明	設定範囲	初期値
エコーキャンセラ制御	エコーキャンセラの制御を選択します。 (注1)	有効/無効/自動	自動
NLP 設定	通話品質を制御するための値を選択します。	0/-8/-14/-20/-26/-32/-38 /-44/-50/-56/-62/-68/-74	-32
Flat Delay	エコー消去開始時間を選択します。	0/2/5/8/12/18/25/35/48 /64	0
Decay Step Number	エコーの収束を遅くするための段階数を選択します。	0/2/5/8/12/18/25/35/48 /64	8
Decay Step Size Control	「Decay Step Number」のステップ時間を選択します。	0.5/1/2/4/8/16/32/64	4
ゲイン設定 (送信)	VoIP 回線へ送信する音声の音量を選択します。	-12/-9/-6/-3/0/3/6/9	0
ゲイン設定 (受信)	VoIP 回線から受信する音声の音量を選択します。	-12/-9/-6/-3/0/3/6/9	0

(注1) 「自動」を選択した場合、FAX 検出した場合は無効、その他の場合は有効となります。

通話時に下記の現象が発生する場合の推奨値を記載します。

【エコーキャンセラ推奨値】

発生現象	NLP 設定	Flat Delay	Decay Step Number	Decay Step Size Control
エコーが発生する。	-20	0	0	0.5
ダブルトーク時に音切れが発生する。	-50	0	8	8

2.2.1.16 設定データ初期化

各設定データの初期化を行います。

【操作手順】

①設定メニューより「工場出荷状態に戻す」を押下します。

工場出荷状態に戻す

全ての設定データの初期化を行います。

全ての設定データを初期化します。
よろしいですか？

OK

図 2-2-1-16-1：全設定データ初期化画面

②「OK」ボタンを押下します。（全ての設定データが工場出荷状態の値に戻ります。）

設定データ初期化結果

全ての設定データの初期化は正常に終了しました。
設定データ保存後、再起動を行って下さい。

図 2-2-1-16-2：全設定データ初期化結果画面

2.2.1.17 設定データ保存

設定したデータを本ユニット内部に保存します。

【操作手順】

- ①各設定メニューより「設定データ保存」ボタンを押下します。

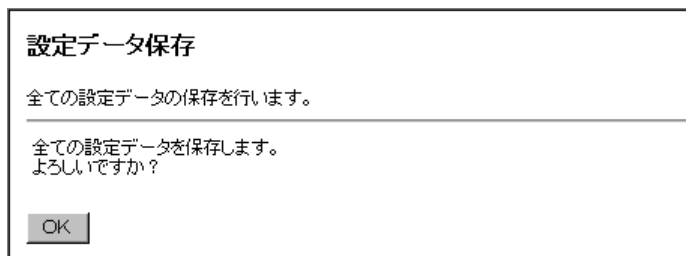


図 2-2-1-17-1：設定データ保存画面

- ②「OK」ボタンを押下します。（設定データが本ユニット内部に保存されます。）

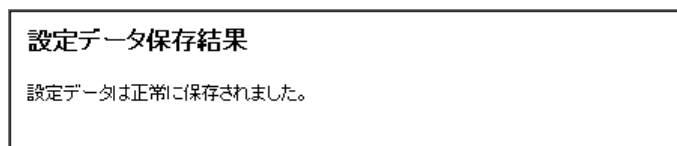


図 2-2-1-17-2：設定データ保存結果画面

※補足説明

設定を有効にするには、設定データ保存後、本ユニットの再起動を行ってください。

2.2.1.18 インタフェース状態表示

各インタフェースの状態を閲覧することができます。閲覧できる状態は、「LAN インタフェース」「WAN インタフェース (PPPoE)」「WAN インタフェース (IP 固定設定)」「回線状態」です。

インタフェース状態表示

LANインタフェース状態

インタフェース名	状態	IPアドレス
LAN1	UP	192.168.1.254

WANインタフェース状態(PPPoE)

インタフェース名	接続状態	IPアドレス	マニュアル操作
PPPoE_1	通信中	181.1.230.177	<input type="button" value="起動"/> <input type="button" value="停止"/>
PPPoE_2	空き	なし	<input type="button" value="起動"/> <input type="button" value="停止"/>
PPPoE_3	空き	なし	<input type="button" value="起動"/> <input type="button" value="停止"/>

WANインタフェース状態(IP固定設定)

インタフェース名	IPアドレス	VoIP状態	マニュアル操作
StaticIP	181.1.240.230	開始	<input type="button" value="起動"/> <input type="button" value="停止"/>

回線状態

回線	状態
CH1	有効
CH2	有効
CH3	有効
CH4	有効
CH5	無効
CH6	無効
CH7	無効
CH8	無効
CH9	無効
CH10	無効
CH11	無効
CH12	無効
CH13	無効
CH14	無効
CH15	無効
CH16	無効

図 2-2-1-18 : インタフェース状態表示画面

【インタフェース状態表示項目の説明】

設定項目	説明
《LAN インタフェース状態》	
インタフェース名	LAN 側インタフェース名を表示します。
状態	LAN の状態を表示します。 「UP」 : LAN が接続されている状態です。 「DOWN」 : LAN が接続されていない状態です。
IP アドレス	使用中の LAN IP アドレスを表示します。

設定項目	説明
《WAN インタフェース状態 (PPPoE)》	
インタフェース名	WAN (PPPoE) 側インタフェース名を表示します。
接続状態	WAN (PPPoE) の状態を表示します。 「空き」 : セッションが接続されていない状態です。 「接続中」 : セッションが接続中の状態です。 「通信中」 : セッションが接続されている状態です。 「切断中」 : セッションが切断中の状態です。
IP アドレス	使用中の WAN (PPPoE) IP アドレスを表示します。
マニュアル操作	使用中のインタフェースを手動で起動/停止することができます。 「起動」 : セッションの接続を行います。 「停止」 : セッションの停止を行います。
《WAN インタフェース状態 (IP 固定設定)》	
インタフェース名	WAN (StaticIP) 側インタフェース名を表示します。
IP アドレス	使用中の WAN (StaticIP) IP アドレスを表示します。
VoIP 状態	VoIP の利用状況を表示します。 「開始」 : VoIP が使用可能な状態です。 「停止」 : VoIP が設定されていない状態です。 「異常」 : VoIP が使用不可能な状態です。(設定はされている)
マニュアル操作	使用中のインタフェースを手動で起動/停止することができます。 「起動」 : セッションの接続を行います。 「停止」 : セッションの停止を行います。
《回線状態》	
状態	VoIP 回線各 CH ごとの状態を表示します。 「有効」 : VoIP が使用可能な状態です。 「無効」 : VoIP が使用不可能な状態です。 「通話中」 : VoIP 通話を行っている状態です。

※補足説明

各状態表示にて最新の状態を表示する場合は、ブラウザを最新の画面表示にしてください。

2.2.1.19 パケット統計情報表示

送信したパケットまたは受信したパケットの累計、失敗合計数を閲覧することができます。

パケット統計情報表示

インタフェース名	受信		送信		破棄
	累計	失敗	累計	失敗	
LAN1	1949	0	1876	0	0
PPPoE_1	0	0	0	0	0

クリア

図 2-2-1-19 : パケット統計情報表示画面

【パケット統計情報表示項目の説明】

設定項目	説明
インタフェース名	WAN 側インタフェース名を表示します。
受信 (累計)	受信パケットの累計を表示します。
受信 (失敗)	受信パケットの失敗数を表示します。
送信 (累計)	送信パケットの累計を表示します。
送信 (失敗)	送信パケットの失敗数を表示します。
破棄	破棄されたパケット数を表示します。
《ボタン》	
クリアボタン	各インタフェースのパケット統計情報をクリアします。

※補足説明

各状態表示にて最新の状態を表示する場合は、ブラウザを最新の画面表示にしてください。

2.2.1.20 ARP テーブル表示

登録されている ARP テーブルの情報を閲覧することができます。

ARPテーブル表示

IPアドレス	MACアドレス	生存時間
192.168.1.1	00:C0:9F:94:5C:60	157

図 2-2-1-20 : ARP テーブル表示画面

【ARP テーブル表示項目の説明】

設定項目	説明
IP アドレス	ARP テーブルに登録されている IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	上記 IP アドレスに対応する MAC アドレスを表示します。
生存時間	ARP テーブルに登録されている時間を表示します。

※補足説明

各状態表示にて最新の状態を表示する場合は、ブラウザを最新の画面表示にしてください。

2.2.1.21 DNS キャッシュテーブル表示

ProxyDNS 機能により登録されているドメイン名とドメイン名に対応する IP アドレスのテーブルを閲覧することができます。

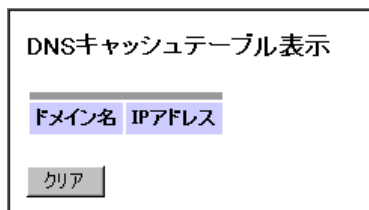


図 2-2-1-21 : DNS キャッシュテーブル表示画面

【DNS キャッシュテーブル表示項目の説明】

設定項目	説明
ドメイン名	ProxyDNS 機能によりキャッシュされたドメイン名を表示します。
IP アドレス	上記ドメイン名に対応する IP アドレスを表示します。
《ボタン》	
クリアボタン	本ユニットに登録されている DNS キャッシュテーブル情報をクリアします。

※補足説明

各状態表示にて最新の状態を表示する場合は、ブラウザを最新の画面表示にしてください。

2.2.1.22 IP ルーティング情報表示

設定したルーティング情報を閲覧することができます。

IPルーティング情報表示					
インタフェースIPルーティング情報					
IPアドレス	サブネットマスク	経路先			
192.168.1.0	24bit	LAN1			
スタティックIPルーティング情報					
IPアドレス	サブネットマスク	経路先	ホップ数		
デフォルトルート					
デフォルト		PPPoE_1	1		
ダイナミックIPルーティング情報					
IPアドレス	サブネットマスク	経路先	ホップ数	生存時間	インタフェース名

図 2-2-1-22 : IP ルーティング情報表示画面

【IP ルーティング情報表示項目の説明】

設定項目	説明
《インタフェース IP ルーティング情報》	
IP アドレス	LAN 側 IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	LAN 側 IP アドレスのサブネットマスクを表示します。
経路先	経路先のインタフェースを表示します。
《デフォルトルート情報》	
経路先	経路先のインタフェースを表示します。
ホップ数	経路先との距離を表示します。
《スタティック IP ルーティング情報》	
IP アドレス	ルーティングする送信先 IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	ルーティングする送信先 IP アドレスのサブネットマスクを表示します。
経路先	経路先のインタフェースを表示します。
ホップ数	経路先との距離を表示します。
《ソースルーティング情報》	
IP アドレス	ルーティングする送信元 IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	ルーティングする送信元 IP アドレスのサブネットマスクを表示します。
経路先	経路先のインタフェースを表示します。
ホップ数	経路先との距離を表示します。
《ドメインルーティング情報》	
ドメイン名	ルーティングを対象とするドメイン名を表示します。
経路先	経路先のインタフェースを表示します。
ホップ数	経路先との距離を表示します。

設定項目	説明
ダイナミック IP ルーティング情報	
IP アドレス	ルーティングする送信先の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	ルーティングする送信先 IP アドレスのサブネットマスクを表示します。
経路先	経路先の IP アドレスを表示します。
ホップ数	経路先との距離を表示します。
生存時間	経路情報の生存時間を表示します。
インタフェース名	経路先のインタフェースを表示します。

※補足説明

各状態表示にて最新の状態を表示する場合は、ブラウザを最新の画面表示にしてください。

2.2.1.23 DHCP 割り付け状態表示

DHCP サーバ機能により割り当てた IP アドレスを閲覧することができます。また、割り当てた IP アドレスをテーブルから削除／保存することもできます。

DHCP割り付け状態表示

	IPアドレス	ホスト名	MACアドレス	状態
<input type="checkbox"/>	192.168.1.1	PC308063151728	00:C0:9F:94:5C:60	リース中

図 2-2-1-23 : DHCP 割り付け状態表示画面

【DHCP 割り付け状態表示項目の説明】

設定項目	説明
IP アドレス	本機能により割り当てられた IP アドレスを表示します。
ホスト名	上記 IP アドレスに対応するホスト名を表示します。
MAC アドレス	上記 IP アドレスに対応する MAC アドレスを表示します。
状態	現在の IP アドレスの使用状態を表示します。
《ボタン》	
削除ボタン	テーブルから DHCP 割り付け情報を削除します。
保存ボタン	テーブルの DHCP 割り付け情報を保存します。

※補足説明

各状態表示にて最新の状態を表示する場合は、ブラウザを最新の画面表示にしてください。

2.2.1.24 障害ログ表示

障害ログを閲覧することができます。ログ内容は最大 500 件まで表示し、1 件で 1 行記述します。表示順は新しいものから順に表示し、最大件数登録されている状態で新しいログが追加された場合、一番古いログを削除し新しいログを追加します。

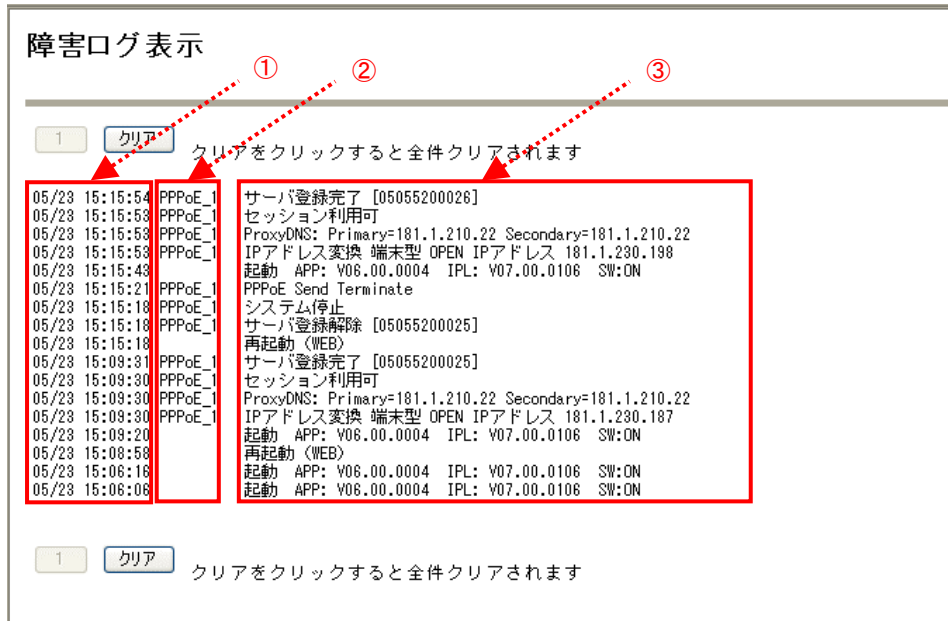


図 2-2-1-24-1 : 障害ログ表示画面

【障害ログ表示項目の説明】

設定項目	説明
①登録日時	障害が登録された日時を表示します。
②WAN インタフェース	障害が発生した時に使用していた WAN インタフェースを表示します。
③ログ内容	障害内容を表示します。

障害ログの一覧を記述します。

(1) ルータ系ログ一覧

種別	表示	説明	
PPPoE	PPPoE Start <インタフェース名>	PPPoE の接続が開始されたことを表す。	
	PPPoE Request to XXXX [xx:xx:xx:xx:xx:xx]	PPPoE の要求を送出したことを表す。	
	PPPoE Closed	PPPoE の接続が終了したことを表す。	
	PPPoE Opened	PPPoE のセッションが確立し通信状態となったことを表す。	
	PPPoE Send Terminate	PPPoE から切断を開始したことを表す。	
	PPPoE Terminate Received	PPPoE が相手から切断を開始されたことを表す。	
	PPPoE AC Not Found	PPPoE のエラー情報 (PADI 再送オーバー)	
	PPPoE No AC response	PPPoE のエラー情報 (PADS 再送オーバー)	
	PPPoE AC response unaccepted	PPPoE のエラー情報 (PADS サービス名不一致)	
	PPPoE PAD....	PPPoE のエラー情報 (通知されたエラー説明)	
PPP	LCP	LCP 確立手順開始	LCP のネゴシエーションを開始したことを表す。
		LCP 手順完了	LCP のネゴシエーションを終了したことを表す。
		LCP 手順確立	LCP のネゴシエーションを成功したことを表す。
		LCP エコータイムアウト	LCP のエコーがタイムアウトしたことを表す。
		LCP 確立手順タイムアウト	LCP の確立手順がタイムアウトしたことを表す。
		LCP 完了手順タイムアウト	LCP の完了手順がタイムアウトしたことを表す。
	認証	認証 開始	認証 (PAP/CHAP) のネゴシエーションを開始したことを表す。
		認証 成功	認証が成功したことを表す。
		認証 失敗	認証が失敗したことを表す。
	IPCP	IPCP 確立手順開始	IPCP のネゴシエーションを開始したことを表す。
		IPCP 完了手順開始	IPCP のネゴシエーションの終了を表す。
		IPCP 手順確立	IPCP のネゴシエーションを成功したことを表す。
DNS	ProxyDNS: Primary= x. x. x. x Secondary=x. x. x. x	上位の DNS サーバアドレスを獲得したことを表す。Secondary が獲得できなかった場合は、Primary のみを表示する。	
	ProxyDNS: Server closed	上位の DNS サーバとの接続を解放したことを表す。	
アドレス変換	IP アドレス変換 端末型 OPEN IP アドレス x. x. x. x	IP アドレス変換が端末型で開始したことを表す。	
	IP アドレス変換 LAN 型 OPEN IP アドレス x. x. x. x	IP アドレス変換が LAN 型で開始したことを表す。	
	IP アドレス変換 DOWN	IP アドレス変換が停止したことを表す。	
	IP アドレス変換 コネクション管理テーブル FULL	IP アドレス変換処理のコネクション管理テーブルが一杯になったことを表す。	
	IP アドレス変換 ポート管理テーブル FULL	IP アドレス変換処理のポート管理テーブルが一杯になったことを表す。	
手動操作	手動起動	インタフェース状態表示で WAN を起動したことを表す。	
	手動停止	インタフェース状態表示で WAN を停止したことを表す。	

(2) VoIP 系ログ一覧

表示	保存	説明
セッション利用可		IP 電話用 WAN インタフェースが利用可能となったを示す。
セッション利用不可 (手動停止)		手動停止のため、IP 電話用 WAN インタフェースが利用不可能となったことを示す。
セッション利用不可 (リンクダウン)	○	IP 電話用 WAN インタフェースが切断されて、利用不可能となったことを示す。
セッション利用不可 (IGD 切断)	○	IGD 未応答のため IP 電話用 WAN インタフェースが切断されて、利用不可能となったことを示す。
セッション利用不可 (利用終了)		Web からの再起動などのため、IP 電話用 WAN インタフェースが利用不可能となったことを示す。
VoIP 起動エラー		IP 電話機能の起動処理中にエラーが発生したことを示す。
システム停止		再起動待ちなどで強制停止されたことを示す。
必須情報無し		IP 電話のサービス設定が不十分であることを示す。
DNS 解決 (SIP サーバ)		SIP サーバの IP アドレスが解決できたことを示す。
DNS 解決 (登録サーバ)		REGISTER サーバの IP アドレスが解決できたことを示す。
DNS 未解決 (SIP サーバ)	○	SIP サーバの IP アドレスが解決できなかったことを示す。
DNS 未解決 (登録サーバ)	○	REGISTER サーバの IP アドレスが解決できなかったことを示す。
サーバ登録完了 [XXXXXXXXXX]		REGISTER サーバへの登録が成功したことを示す。[XXXXXXXXXX] は、サーバ登録を完了した IP 電話番号を示す。
サーバ登録失敗 [XXXXXXXXXX:YYY]	○	REGISTER サーバへの登録に失敗したことを示す。[XXXXXXXXXX:YYY] は、サーバ登録に失敗した IP 電話番号とレスポンスコードを示す。
サーバ登録解除 [XXXXXXXXXX]		REGISTER サーバへの登録を解除したことを示す。[XXXXXXXXXX] は、サーバ登録を解除した IP 電話番号を示す。
サーバ応答なし (登録確認) サーバ応答なし (発信)	○	周期的に実施されるサーバ登録確認、または発信時に SIP サーバが無応答であることを示す。本ユニットは全ての通信を切断して、SIP サーバに対して再登録処理を起動する。

(3) 自動バージョンアップ系ログ一覧

表示	保存	説明
ファームウェア更新確認 (自動)		ファームウェア更新確認の開始(自動)を示す。
ファームウェア更新確認 (WEB)		ファームウェア更新確認の開始(Web)を示す。
更新確認成功 (更新あり)		更新確認が成功し、更新チェックの結果、更新可能を示す。
更新確認成功 (更新なし)		更新確認が成功し、更新チェックの結果、更新不可能を示す。
更新確認失敗	○	更新確認が失敗したことを示す。
ダウンロード開始		ファームウェアダウンロードの開始を示す。
ダウンロード成功		ファームウェアダウンロードの成功を示す。
ダウンロード失敗	○	ファームウェアダウンロードの失敗を示す。

(4) 起動系ログ一覧

表示	保存	説明
起動 APP: V07. xx. xxxx IPL: V07. xx. xxxx SW:ON		VoIP ユニットの起動を示す。 アプリと IPL のバージョンを表示する。 ルータスイッチ状態を表示する。
再起動 (自動バージョンアップ)	○	自動バージョンアップによる再起動を示す。
再起動 (WEB)		Web 操作による再起動を示す。

2.2.1.25 通話ログ表示

通話ログを閲覧することができます。ログ内容は最大 1000 件まで表示し、1 件で 4 行記述します。表示順は新しいものから順に表示し、最大件数登録されている状態で新しいログが追加された場合、一番古いログを削除し新しいログを追加します。

通話ログ表示

1 クリアをクリックすると全件クリアされます

登録日時	発着信日時	通話開始日時	切替日時	チャンネル	発着信	切替源=呼切理由(SIP)
05/23 15:30:06	05/23 15:30:01	05/23 15:30:03	05/23 15:30:05	CH=01	T	N=000
<small>装置電話番号 送信パケット数 / 受信パケット数 / 廃棄パケット数 RTPパケット紛失数 / RTPパケット入替数 / RTP受信エラーパケット数</small>						
<small>05055200026 / 0000000118 / 0000000000 00000 / 00000 / 0000000000</small>						
05/23 15:29:50	05/23 15:29:48	**/** **/**	05/23 15:29:48	CH=01	O	N=479
<small>05055200026 / 0000000000 / 0000000000 00000 / 00000 / 0000000000</small>						
05/23 15:28:48 起動 APP: V06.00.0004 IPL: V07.00.0106 SW:ON						

1 クリアをクリックすると全件クリアされます

図 2-2-1-25 : 通話ログ表示画面

通話ログのフォーマットは以下の通りとなります。

通話ログ表示

(起動時のバージョン表示)

1 行目 2 行目

3 行目 09/26 18:28:34 起動 APP: V07.00.0106 IPL: V07.00.0106

4 行目

(その他通話ログ表示)

1 行目 09/26 18:24:27 09/26 18:24:10 09/26 18:24:12 09/26 18:24:27 CH=01 0 G=486

2 行目 ***** 0227777777

3 行目 ①登録日時 ⑩送信パケット数 ⑬RTP パケット紛失数 ⑪受信パケット数 ⑫廃棄パケット数

4 行目 ⑭RTP パケット入替数 ⑮RTP 受信エラーパケット数 ⑦相手電話番号

②発着信日時 ③通話開始日時 ④切替日時 ⑤チャンネル ⑧発着信 ⑨切替源=呼設定理由 (SIP)

【通話ログ表示項目の説明】

設定項目	説明
①登録日時	呼終了時の時間を表示します。月時分秒のみ表示します。
②発着信日時	呼が発生した（INVITE 送信／受信）した時間を表示します。
③通話開始日時	通話を開始し（2000K 送信／受信）した時間を表示します。
④切断日時	呼を切断、途中放棄した時間を表示します。
⑤チャンネル	使用したチャンネル番号を表示します。
⑥装置電話番号	発信：発信に使用した発番号を表示します。最大 32 桁で表示します。 着信：着信で受信した着番号を表示します。最大 32 桁で表示します。
⑦相手先電話番号	発信：発信に使用した着番号を表示します。最大 32 桁で表示します。 着信：着信で受信した発番号を表示します。最大 32 桁で表示します。 ※非通知の場合は、非通知理由を最大 32 桁で表示します。
⑧発着信	O=発信（電話をかけた） I=着信（電話がかかってきた）
⑨切断源（呼終了の起因源）	G=本ユニットから切断した場合 N=相手側から切断した場合 U=その他（リンクダウン／強制切断等）の場合
切断理由（SIP）	SIP 理由コードを表示します。（0～999）
⑩送信パケット数	呼の発生から終了までに本ユニット端末から送信したパケット数の合計を表示します。
⑪受信パケット数	呼の発生から終了までに相手端末から受信したパケット数の合計を表示します。
⑫廃棄パケット数	呼の発生から終了までに相手端末から受信したパケットのうち、エラーにより廃棄したパケット数の合計を表示します。
⑬RTP パケット紛失数	呼の発生から終了までに相手端末から受信するはずだった RTP パケットのうち、受信できなかったパケット数の合計を表示します。
⑭RTP パケット入替数	呼の発生から終了までに相手端末から受信するはずだった RTP パケットのうち、受信順番を入れ替えたパケット数の合計を表示します。
⑮RTP 受信エラーパケット数	呼の発生から終了までに相手端末から受信するはずだった RTP パケットのうち、エラーにより廃棄したパケット数の合計を表示します。

2.2.1.26 ログデータ保存

障害ログ及び通話ログを本ユニット内部に保存します。

【操作手順】

- ①レポート表示メニューより「ログデータ保存」ボタンを押下します。

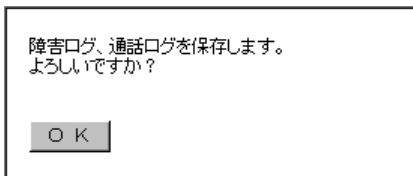


図 2-2-1-26-1 : ログデータ保存画面

- ②「OK」ボタンを押下します。（障害及び通話ログデータが本ユニット内部に保存されます。）

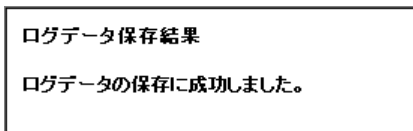


図 2-2-1-26-2 : ログデータ保存完了画面

2.2.1.27 設定一覧表示

Web 設定の設定内容の一覧を閲覧することができます。

設定一覧表示	
メインメニューに戻る	
インタフェース設定	
LANインタフェース設定	
インタフェース名	LAN1
IPアドレス	192.168.1.254
サブネットマスク	24bit
WANインタフェース設定	
インタフェース名	PPPoE_1
セッション	有効
認証	
認証方式	あり
接続ユーザ名	
接続パスワード	
MTU値	1454
インタフェース名	PPPoE_2
セッション	無効
認証	
認証方式	なし
接続ユーザ名	
接続パスワード	
MTU値	1454
インタフェース名	PPPoE_3
セッション	無効

図 2-2-1-27 : 設定一覧表示画面

閲覧できる項目は以下の通りです。

- ・ LAN インタフェース設定
- ・ WAN インタフェース設定 (PPPoE_1/PPPoE_2/PPPoE_3)
- ・ UPnP 設定
- ・ PPPoE ブリッジ設定
- ・ IPv6 ブリッジ設定
- ・ DHCP サーバ設定
- ・ 固定割り付けテーブル設定
- ・ ProxyDNS 設定
- ・ ホストテーブル設定
- ・ NAT 設定 (PPPoE_1/PPPoE_2/PPPoE_3)
- ・ 静的 NAPT 設定
- ・ ダイナミックルーティング設定
- ・ デフォルトルート設定
- ・ スタティック IP ルーティング設定
- ・ ソースルーティング設定
- ・ ドメインルーティング設定
- ・ フィルタリング設定
- ・ 自動ファームアップ設定
- ・ VoIP 詳細設定

2.2.1.28 自動ファームアップ（手動更新）

手動による自動ファームアップを行います。即時に自動ファームアップを行いたい場合に使用します。

【操作手順】

- ①ファームアップメニューより「自動ファームアップ」ボタンを押下します。（ファームアップサーバにファームアップの更新があるかを確認しにいきます。）



図 2-2-1-28-1：自動ファームアップ更新確認中画面

- ②更新があれば以下の画面が表示されます。

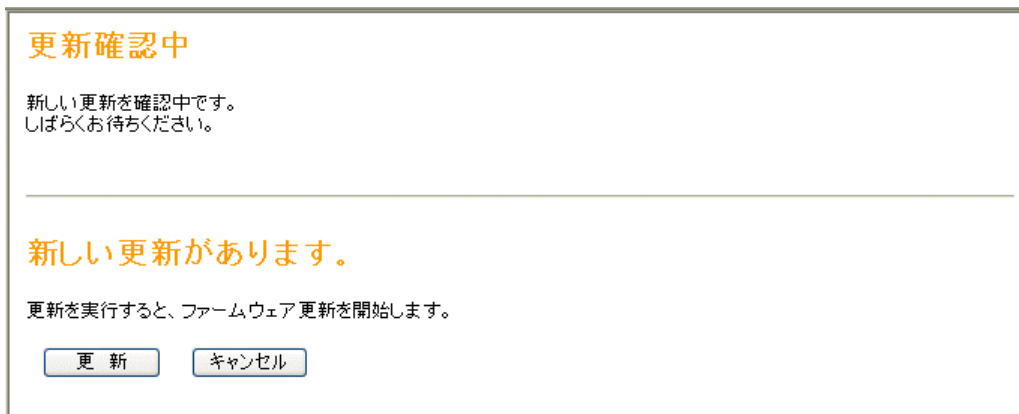


図 2-2-1-28-2：自動ファームアップ更新あり画面

- ③（更新があった場合）「更新」ボタンを押下します。（ファームアップサーバからファームアップファイルをダウンロードし、ファームアップを開始します。）



図 2-2-1-28-3：自動ファームアップダウンロード中画面

- ④ファームアップ完了後は、Web 設定トップ画面に戻ります。

※補足説明

自動ファームアップ（手動更新）中に、主装置の電源は落とさないでください。

2.2.1.29 ローカルファームアップ

本ユニット配下のPCよりファームアップを行います。

【操作手順】

- ①参照ボタンを押下し、指定のファームアップファイルを選択します。

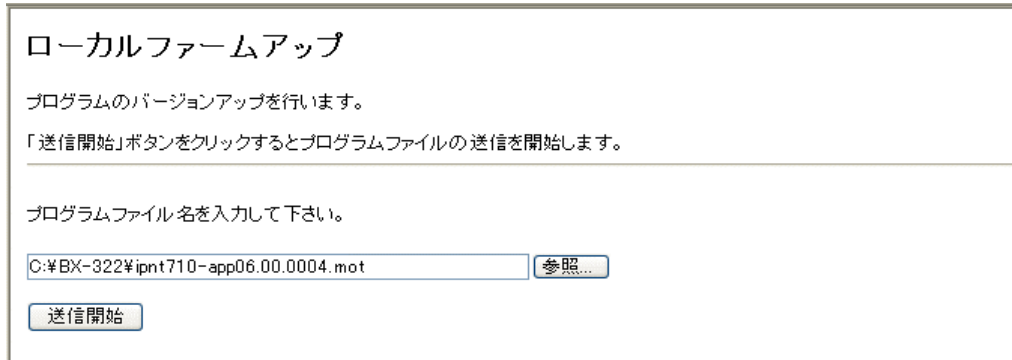


図 2-2-1-29-1：ローカルファームアップファイル指定画面

- ②「送信開始」ボタンを押下します。（ローカルPCからファームアップファイルをダウンロードします。）

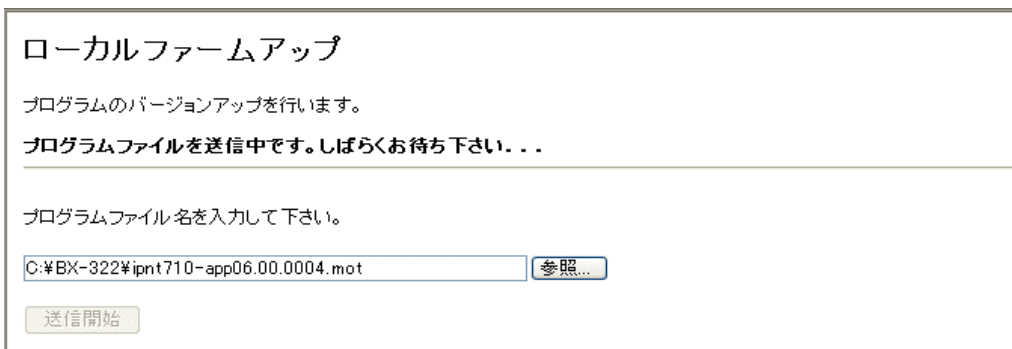


図 2-2-1-29-2：ローカルファームアップ送信中画面

- ③（ダウンロード完了後）更新開始ボタンを押下します。（ファームアップを開始します。）

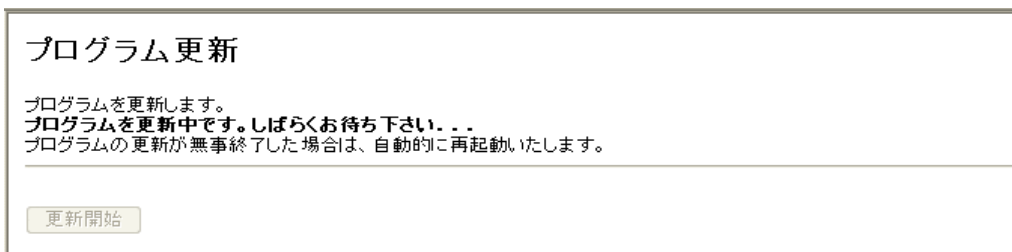


図 2-2-1-29-3：ローカルファームアップ更新中画面

- ④ファームアップ完了後は、Web 設定トップ画面に戻ります。

※補足説明

ローカルファームアップ中に、主装置の電源は落とさないでください。

2.2.1.30 再起動

本ユニットの再起動を行います。また全ての設定データを本ユニット内部に保存します。

【操作手順】

- ①各メニューより「再起動」ボタンを押下します。

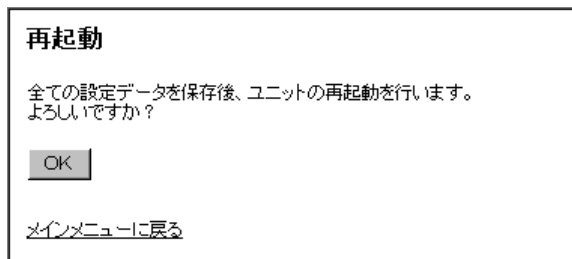


図 2-2-1-30-1：再起動画面

- ②「OK」ボタンを押下します。（ユニットが再起動します。）

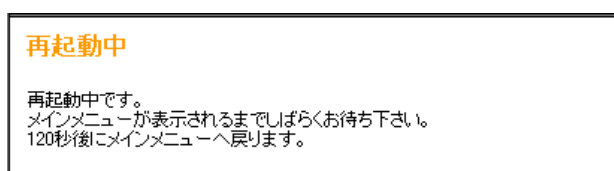


図 2-2-1-30-2：再起動中画面

- ③再起動後は、Web 設定トップ画面に戻ります。

※補足説明

本ユニット再起動中に、主装置の電源は落とさないでください。

2.2.2 NTT 西日本の場合

以下はNTT 西日本の場合について説明します。

2.2.2.1 メニュー

メニューの遷移を以下に示します。

①メインメニュー

ログイン後、または再起動後に表示するメニューです。

設定メニュー レポート表示 設定一覧表示 ファームアップ 再起動	Version	07.90.0002
	Date	2007.08.24
	MAC Address (LAN)	00-02-2B-A0-2F-94
	MAC Address (WAN)	00-02-2B-A0-2F-95
	Service Type	ひかり電話オフィスタイプ(NTT西日本)

設定上の注意

- 各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定」ボタンをクリックして下さい。
- データ設定中、「元に戻す」ボタンをクリックすることにより設定を取り消すことが出来ます。
- 設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され有効になります。
- 設定を変更した場合は、設定データ保存後、必ずユニットを再起動して下さい。
- 設定データ保存を行わずに電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。
- ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用下さい。

図 2-2-2-1-1 : メインメニュー画面

【メインメニュー項目の説明】

メニュー項目	説明	遷移先
設定メニュー	システム設定、ルータ設定を行います。	②設定メニュー画面
レポート表示	インタフェース状態表示、障害ログ、通話ログ等を表示します。	③レポート表示画面
設定一覧表示	ユニットの設定一覧を表示します。	「2.2.2.15 設定一覧表示」画面へ
ファームアップ	自動ファームアップ、ローカルファームアップを行います。	④ファームアップ画面
再起動	ユニットの再起動を行います。	「2.2.2.18 再起動」画面へ

②設定メニュー

「設定メニュー」ボタン押下時に表示するメニューです。各種設定を行います。

<p>設定メニュー</p> <p>メインメニューに戻る</p> <p>■システム設定 自動ファームアップ設定</p> <p>■ルータ設定 ルータ設定メニュー</p> <p>■VoIP設定 VoIP設定メニュー</p> <p>工場出荷状態に戻す</p> <p>設定データ保存</p> <p>再起動</p>	<p>設定上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定」ボタンをクリックして下さい。 データ設定中、「元に戻す」ボタンをクリックすることにより設定を取り消すことが出来ます。 設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され有効になります。 設定を変更した場合は、設定データ保存後、必ずユニットを再起動して下さい。 設定データ保存を行わずに電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。 ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用下さい。
---	--

図 2-2-1-2 : 設定メニュー画面

【設定メニュー項目の説明】

メニュー項目	説明	遷移先
自動ファームアップ設定	自動ファームアップの設定を行います。	「2. 2. 2. 16 自動ファームアップ設定」画面へ
ルータ設定メニュー	ルータの設定を行います。	⑤ルータ設定メニュー画面
VoIP 設定メニュー	VoIPの詳細設定を行います。	⑥VoIP 設定メニュー画面
工場出荷状態に戻す	全設定データの初期化を行います。	「2. 2. 2. 6 設定データ初期化」画面へ
設定データ保存	設定データの保存を行います。	「2. 2. 2. 7 設定データ保存」画面へ
再起動	ユニットの再起動を行います。	「2. 2. 2. 18 再起動」画面へ

③レポート表示

「レポート表示」ボタン押下時に表示するメニューです。各種表示を参照します。

<p>レポート表示メニュー</p> <p>メインメニューに戻る</p> <p>インタフェース状態表示</p> <p>パケット統計情報表示</p> <p>ARPテーブル表示</p> <p>DHCP割り付け状態表示</p> <p>障害ログ表示</p> <p>通話ログ表示</p> <p>ログデータ保存</p>	<p>設定上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定」ボタンをクリックして下さい。 データ設定中、「元に戻す」ボタンをクリックすることにより設定を取り消すことが出来ます。 設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され有効になります。 設定を変更した場合は、設定データ保存後、必ずユニットを再起動して下さい。 設定データ保存を行わずに電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。 ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用下さい。
--	--

図 2-2-1-3 : レポート表示メニュー画面

【レポート表示メニュー項目の説明】

メニュー項目	説明	遷移先
インタフェース状態表示	各インタフェースの状態を表示します。	「2. 2. 2. 8 インタフェース状態表示」画面へ
パケット統計情報表示	パケットの統計情報を表示します。	「2. 2. 2. 9 パケット統計情報表示」画面へ
ARP テーブル表示	ARP テーブルを表示します。	「2. 2. 2. 10 ARP テーブル表示」画面へ
DHCP 割り付け状態表示	DHCP の割り付け状態を表示します。	「2. 2. 2. 4 DHCP 割り付け状態表示」画面へ
障害ログ表示	障害ログを表示します。	「2. 2. 2. 12 障害ログ表示」画面へ
通話ログ表示	通話ログを表示します。	「2. 1. 2. 13 通話ログ表示」画面へ
ログデータ保存	障害ログ、通話ログデータを保存します。	「2. 2. 2. 14 ログデータ保存」画面へ

④ファームアップ

「ファームアップ」ボタン押下時に表示するメニューです。自動またはローカルファームアップを行います。

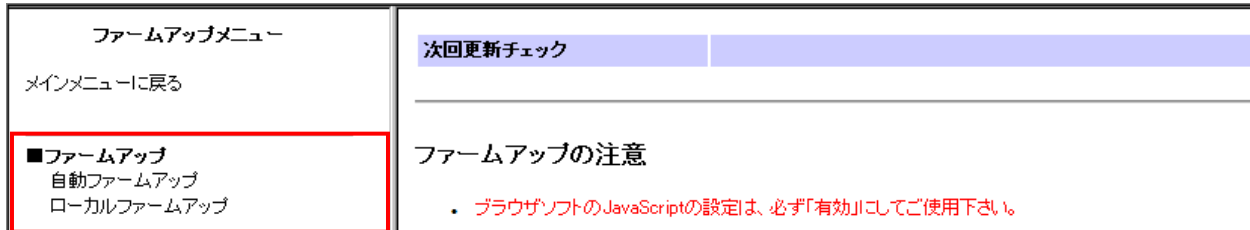


図 2-2-2-1-4：ファームアップメニュー画面

【ファームアップメニュー項目の説明】

メニュー項目	説明	遷移先
自動ファームアップ	(手動による) 自動ファームアップを行います。	「2. 2. 2. 16 自動ファームアップ (手動更新)」画面
ローカルファームアップ	ローカルファームアップを行います。	「2. 2. 1. 17 ローカルファームアップ」画面

⑤ルータ設定メニュー

「ルータ設定メニュー」ボタン押下時に表示するメニューです。ルータの設定を行います。

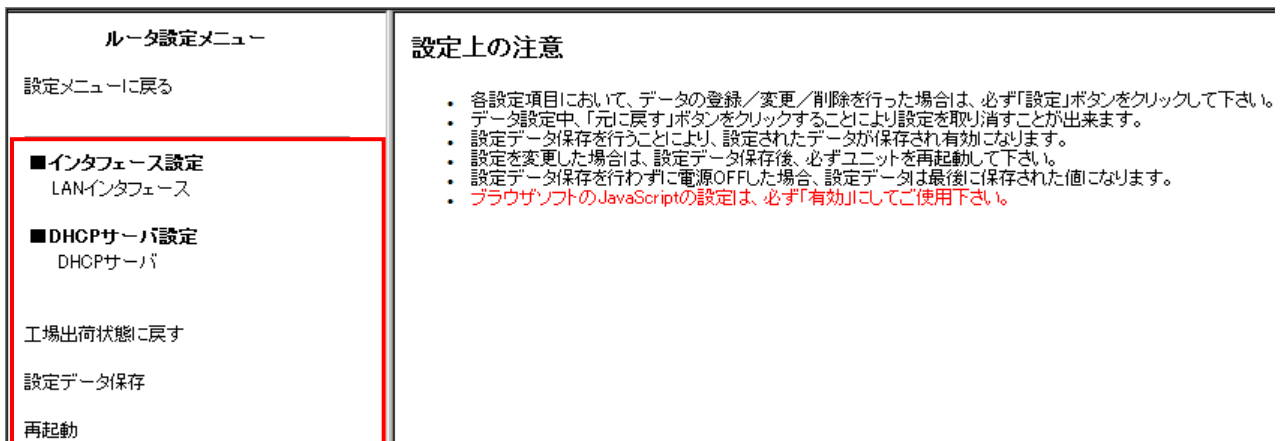


図 2-2-2-1-5：ルータ設定メニュー画面

【ルータ設定メニュー項目の説明】

メニュー項目	説明	遷移先
LAN インタフェース	LAN 側のインタフェース設定を行います。	「2. 2. 2. 3 LAN インタフェース設定」画面
DHCP サーバ	DHCP サーバ設定を行います。	「2. 2. 2. 4 DHCP サーバ設定」画面
工場出荷状態に戻す	全設定データを工場出荷状態に戻します。	「2. 2. 2. 6 設定データ初期化」画面
設定データ保存	設定データの保存を行います。	「2. 2. 2. 7 設定データ保存」画面
再起動	ユニットの再起動を行います。	「2. 2. 2. 18 再起動」画面

⑥VoIP 設定メニュー

「VoIP 設定メニュー」 ボタン押下時に表示するメニューです。VoIP の設定を行います。

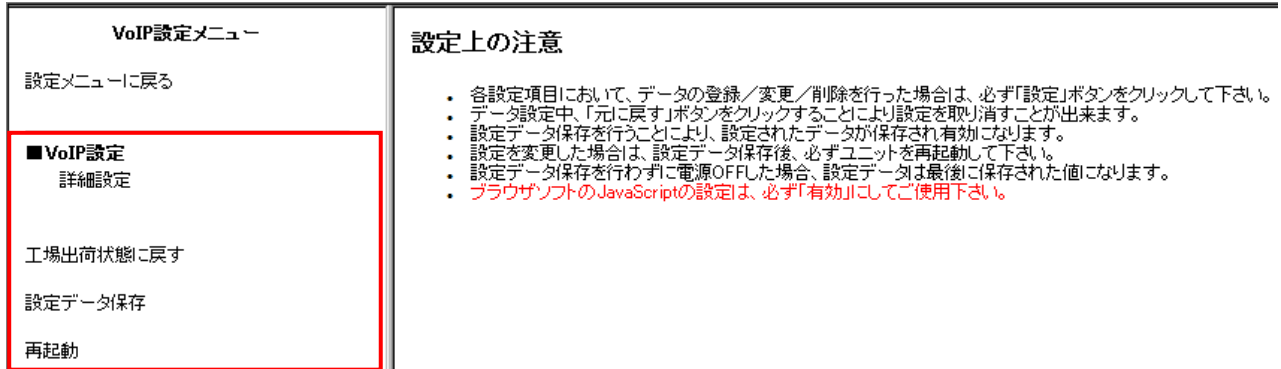


図 2-2-2-1-6 : VoIP 設定メニュー画面

【VoIP 設定メニュー項目の説明】

メニュー項目	説明	遷移先
詳細設定	エコーキャンセラ制御、ゲイン設定等を行います	「2. 2. 2. 5 詳細設定」画面
工場出荷状態に戻す	全設定データを工場出荷状態に戻します。	「2. 2. 2. 6 設定データ初期化」画面
設定データ保存	設定データの保存を行います。	「2. 2. 2. 7 設定データ保存」画面
再起動	ユニットの再起動を行います。	「2. 2. 2. 18 再起動」画面

2. 2. 2. 2 自動ファームアップ設定

「NTT 東日本」の設定と同様です。「2. 2. 1. 2 自動ファームアップ設定」を参照してください。

2. 2. 2. 3 LAN インタフェース設定

「NTT 東日本」の設定と同様です。「2. 2. 1. 3 LAN インタフェース設定」を参照してください。

2. 2. 2. 4 DHCP サーバ設定

「NTT 東日本」の設定と同様です。「2. 2. 1. 8 DHCP サーバ設定」を参照してください。

2.2.2.5 詳細設定

VoIPの詳細設定を行います。

VoIP 詳細設定

VoIPに関する詳細設定を行います。
設定を変更するとIP電話が利用できなくなる場合があります。
設定内容に詳しい方以外は設定を変更しないで下さい。

音声受信バッファ	
最大蓄積パケット数	5 (設定範囲:2~10)
開始蓄積パケット数	2 (設定範囲:1~4)
RTCP送信タイム	5 sec
SDES送信周期	1
揺らぎ吸収処理	する
最大許容遅延時間	100 msec
エコーキャンセラ制御	自動
NLP	-32 dB
Flat Delay	0 msec
Decay Step Number	8
Decay Step Size Control	4 msec
ゲイン設定	
送信	0 dB
受信	0 dB

図 2-2-2-5 : 詳細設定画面

【詳細設定項目の説明】

設定項目	説明	設定範囲	初期値
音声受信バッファ (最大蓄積パケット数)	受信した音声パケットを蓄積できる最大数を入力します。揺らぎ吸収処理を「しない」にした場合のみ有効となります。	半角数字 (2~10)	5
音声受信バッファ (開始蓄積パケット数)	音声を再生するまでに蓄積するパケット数を入力します。揺らぎ吸収処理を「しない」にした場合のみ有効となります。	半角数字 (1~4)	2
RTCP 送信タイム	ネットワークに送出する音声制御パケット (RTCP パケット) を送出する周期を選択します。	5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15	5
SDES 送信周期	RTCP パケットに送出者の情報を追加する処理を何回ごとに行うかを選択します。	1/2	1
揺らぎ吸収処理	揺らぎ吸収処理の「する/しない」を選択します。	する/しない	する
最大許容遅延時間	揺らぎ吸収用のバッファの上限値を (時間で) 選択します。揺らぎ吸収処理を「する」にした場合のみ有効となります。	20/40/60/80/100/120/140/160/180/200	100

設定項目	説明	設定範囲	初期値
エコーキャンセラ制御	エコーキャンセラの制御を選択します。 (注1)	有効/無効/自動	自動
NLP 設定	通話品質を制御するための値を選択します。	0/-8/-14/-20/-26/-32/-38 /-44/-50/-56/-62/-68/-74	-32
Flat Delay	エコー消去開始時間を選択します。	0/2/5/8/12/18/25/35/48 /64	0
Decay Step Number	エコーの収束を遅くするための段階数を選択します。	0/2/5/8/12/18/25/35/48 /64	8
Decay Step Size Control	「Decay Step Number」のステップ時間を選択します。	0.5/1/2/4/8/16/32/64	4
ゲイン設定 (送信)	VoIP 回線へ送信する音声の音量を選択します。	-12/-9/-6/-3/0/3/6/9	0
ゲイン設定 (受信)	VoIP 回線から受信する音声の音量を選択します。	-12/-9/-6/-3/0/3/6/9	0

(注1) 「自動」を選択した場合、FAX 検出した場合は無効、その他の場合は有効となります。

通話時に下記の現象が発生する場合の推奨値を記載します。

【エコーキャンセラ推奨値】

発生現象	NLP 設定	Flat Delay	Decay Step Number	Decay Step Size Control
エコーが発生する。	-20	0	0	0.5
ダブルトーク時に音切れが発生する。	-50	0	8	8

2.2.2.6 設定データ初期化

「NTT 東日本」の動作と同様です。「2.2.1.16 設定データ初期化」を参照してください。

2.2.2.7 設定データ保存

「NTT 東日本」の動作と同様です。「2.2.1.17 設定データ保存」を参照してください。

2.2.2.8 インタフェース状態表示

各インタフェースの状態を閲覧することができます。

閲覧できる状態は、「LAN インタフェース」「WAN インタフェース (IP 自動取得)」「回線状態」です。

インタフェース状態表示			
LANインタフェース状態			
インタフェース名	状態	IPアドレス	
LAN1	UP	192.168.1.254	
WANインタフェース状態(IP自動取得)			
インタフェース名	接続状態	IPアドレス	マニュアル操作
DHCP	利用可	181.1.220.36	<input type="button" value="起動"/> <input type="button" value="停止"/>
回線状態			
回線	状態		
CH1	有効		
CH2	有効		
CH3	有効		
CH4	有効		
CH5	無効		
CH6	無効		
CH7	無効		
CH8	無効		
CH9	無効		
CH10	無効		
CH11	無効		
CH12	無効		
CH13	無効		
CH14	無効		
CH15	無効		
CH16	無効		

図 2-2-2-8 : インタフェース状態表示画面

【インタフェース状態表示項目の説明】

表示項目	説明
《LAN インタフェース状態》	
インタフェース名	LAN 側インタフェース名を表示します。
状態	LAN の状態を表示します。 「UP」 : LAN が接続されている状態です。 「DOWN」 : LAN が接続されていない状態です。
IP アドレス	使用中の LAN IP アドレスを表示します。
《WAN インタフェース状態(IP 自動取得)》	
インタフェース名	WAN (DHCP) 側インタフェース名を表示します。
接続状態	WAN (DHCP) の状態を表示します。 「空き」 : セッションが接続されていない状態です。 「獲得中」 : セッションが接続中の状態です。 「利用可」 : セッションが接続されている状態です。 「解放中」 : セッションが切断中の状態です。
IP アドレス	使用中の WAN (DHCP) IP アドレスを表示します。
VoIP 状態	VoIP の利用状況を表示します。 「開始」 : VoIP が使用可能な状態です。 「停止」 : VoIP が設定されていない状態です。 「異常」 : VoIP が使用不可能な状態です。(設定はされている)
マニュアル操作	使用中のインタフェースを手動で起動/停止することができます。 「起動」 : セッションの接続を行います。 「停止」 : セッションの停止を行います。
インタフェース名	WAN (DHCP) 側インタフェース名を表示します。
《回線状態》	
状態	VoIP 回線各 CH ごとの状態を表示します。 「有効」 : VoIP が使用可能な状態です。 「無効」 : VoIP が使用不可能な状態です。 「通話中」 : VoIP 通話を行っている状態です。

※補足説明

各状態表示にて最新の状態を表示する場合は、ブラウザを最新の画面表示にしてください。

2.2.2.9 パケット統計情報表示

「NTT 東日本」の表示と同様です。「2.2.2.19 パケット統計情報表示」を参照してください。

2.2.2.10 ARP テーブル表示

「NTT 東日本」の表示と同様です。「2.2.2.20 ARP テーブル表示」を参照してください。

2.2.2.11 DHCP 割り付け状態表示

「NTT 東日本」の表示と同様です。「2.2.2.23 DHCP 割り付け状態表示」を参照してください。

2.2.2.12 障害ログ表示

「NTT 東日本」の表示と同様です。「2.2.2.24 障害ログ表示」を参照してください。

2.2.2.13 通話ログ表示

「NTT 東日本」の表示と同様です。「2.2.2.25 通話ログ表示」を参照してください。

2.2.2.14 ログデータ保存

「NTT 東日本」の動作と同様です。「2.2.2.26 ログデータ保存」を参照してください。

2.2.2.15 設定一覧表示

「NTT 東日本」の表示と同様です。「2.2.2.27 設定一覧表示」を参照してください。

2.2.2.16 自動ファームアップ（手動更新）

「NTT 東日本」の動作と同様です。「2.2.2.28 自動ファームアップ（手動更新）」を参照してください。

2.2.2.17 ローカルファームアップ

「NTT 東日本」の動作と同様です。「2.2.2.29 ローカルファームアップ」を参照してください。

2.2.2.18 再起動

「NTT 東日本」の動作と同様です。「2.2.2.30 再起動」を参照してください。